

調査④介護支援専門員調査結果（速報版）**①調査の目的**

介護支援専門員の業務状況や業務全般に対する考え、市への意見や要望等を把握することで、介護支援専門員の質の向上、医療介護連携の推進、サービス提供体制のあり方について検討する。

②調査対象

- ・市内の居宅介護支援事業所に在籍する全介護支援専門員（ケアマネジャー）：170人

③調査方法

- ・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

④調査時期

- ・令和元年10月11日～10月28日

⑤回収率

区分	発送・配布数	回収数（率）		有効回収数（率）	
介護支援専門員	170	104	(61.2%)	104	(61.2%)

⑥調査項目

項目	設問No.	設問
A 基本属性		
	問 1	性別
	問 2	年齢
	問 3	ケアマネジャー以外の所有資格
	問 4	ケアマネジャー業務の経験年数
	問 5	主任ケアマネジャー資格の有無
	問 6	現在の居宅介護支援事業所での在職期間
B ケアマネジャー業務の担当状況		
	問 7	勤務形態
	問 7-1	兼務している業務
C ケアプランの作成状況		
	問 8	担当している利用者数
	問 8-1	介護予防プランの作成を受託していない理由
	問 8-2	介護予防プランの受託件数を増やすうえでの課題
D 担当地域におけるサービスの状況		
	問 9 (1)	量的に不足しているサービス
	問 9 (2)	ケアプランに組み入れにくいサービス
	問 9 (3)	必要性が高まるとされるサービス
	問 10	介護保険以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがあるか
	問 10-1	ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービス
	問 10-2	ケアプランに加えたインフォーマルサポート
	問 11	今後一層の充実が必要だと感じる高齢者保健福祉サービス
	問 11-1	その理由 (自由回答)
E サービス提供事業所等との関わり		
	問 12	サービス提供事業所に関する情報収集や連絡、調整の方法
	問 13	ケアプラン作成時の医療機関等からの情報収集の状況
F サービス担当者会議		
	問 14	サービス担当者会議への参加状況
	問 15	サービス担当者会議の開催にあたって困難と感ずること
G 地域包括支援センターの役割		
	問 16	地域包括支援センターの役割に対する評価
H サービス利用者の在宅療養の状況		
	問 17	訪問看護、訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる利用者の有無
	問 18	在宅療養高齢者の急変時の医療機関への移行
	問 19	在宅療養を進めていくうえで不足している機能
	問 20	医療的ケアが必要な人のショートステイ利用状況
	問 21	在宅療養を支えるうえで必要と思われる支援・サービス (自由回答)
	問 22	後方支援病床利用調整事業の利用状況
	問 22-1	利用に至らない理由 (自由回答)

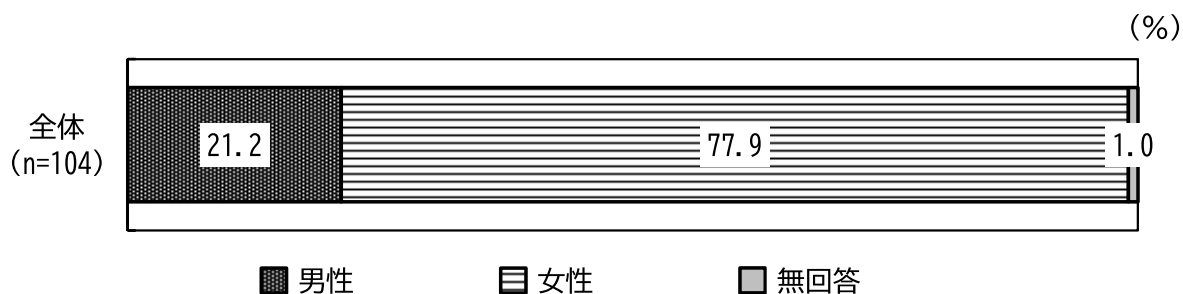
I 認知症患者のサービス利用	
問 23	認知症の利用者の状況で実際にあること
問 24	認知症患者の支援にあたってのかかりつけ医との連携
問 25	認知症患者の支援に必要なことになること
J 医療と介護の連携の状況	
問 26	医療機関やかかりつけ医との情報交換の方法
問 27	入院時の情報提供書の提出状況
問 28	退院前(時)カンファレンスへの出席状況
問 29	医療機関との間での問題やトラブルの有無
問 29-1	医療機関との間で発生した問題やトラブルの内容 (自由回答)
問 30	関係機関、職種との連携状況 (自由回答)
問 31	医療と介護の連携で苦勞していること (自由回答)
問 32	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職
K ケアマネジャー業務全般	
問 33	自立支援に向けたケアプランの作成状況
問 33-1	自立支援に向けたプランとして意識していること・工夫していること (自由回答)
問 33-2	不十分だと思う理由 (自由回答)
問 34	ケアマネジャー業務を行ううえでの課題
問 35	ケアマネジャー業務の中で負担と感ずること
問 36	ケアプランを作成するうえで困ったときの相談先
問 37	相談内容
問 38	ケアマネジャー業務のレベルアップのために行っている取組、今後行いたい取組
問 39	利用者への情報提供の際の課題
L 意見・要望	
問 40	ケアマネジャーとして市に望むこと
問 41	介護保険制度に関する要望等 (自由回答)

⑦調査結果の概要

(1) 回答者について

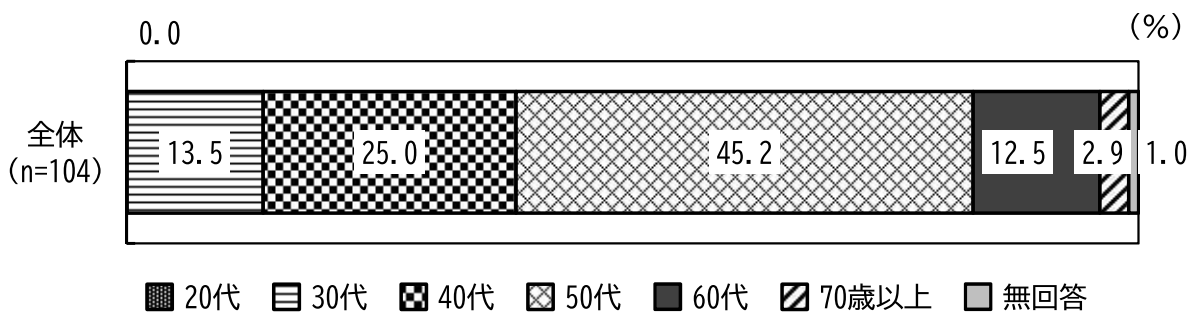
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- ・「男性」が21.2%、「女性」が77.9%となっている。



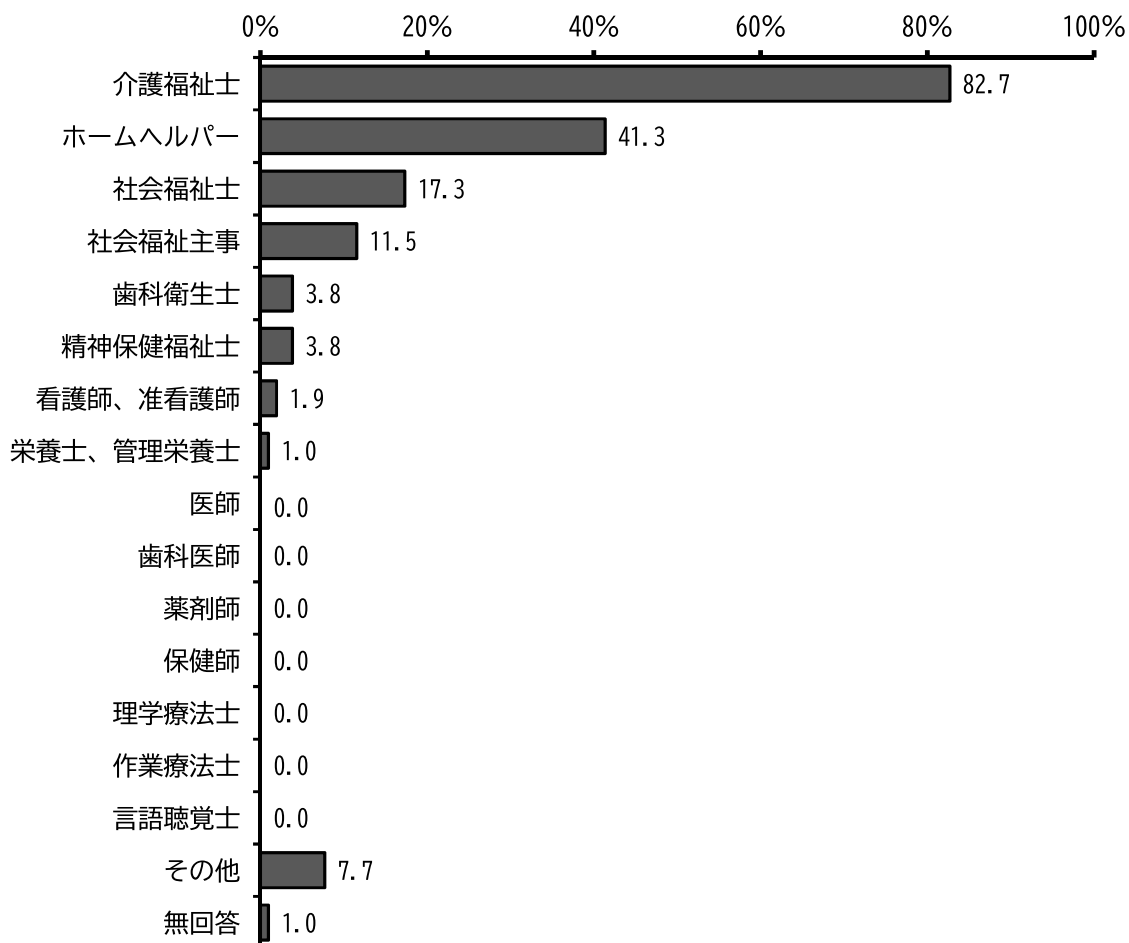
問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- ・「50代」(45.2%)が最も多く、次いで「40代」(25.0%)、「30代」(13.5%)、「60代」(12.5%)と続いている。



問3 あなたは、介護支援専門員（以下「ケアマネジャー」）以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。（いくつでも○）

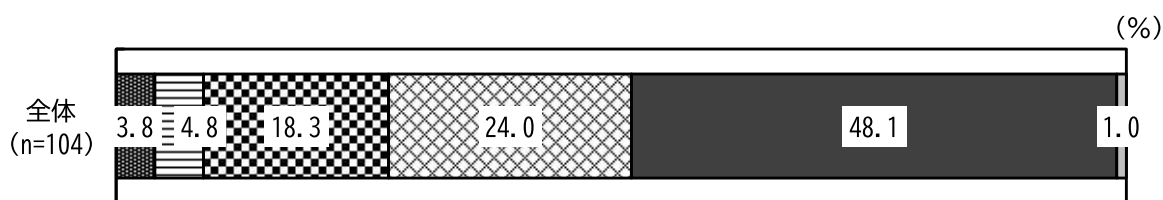
- ・「介護福祉士」(82.7%)が最も多く、次いで「ホームヘルパー（訪問介護員）」(41.3%)、「社会福祉士」(17.3%)、「社会福祉主事」(11.5%)と続いている。



全体 (n=104)

問4 あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などをしている場合は、前職なども含めた合計期間で教えてください。（1つに○）（令和元年10月1日時点）

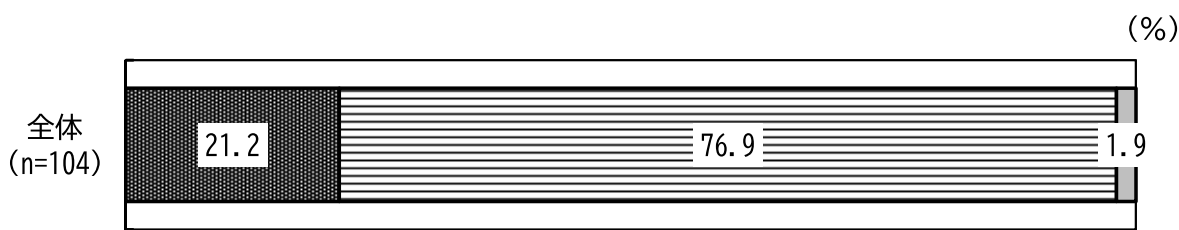
- ・「7年以上」(48.1%)が最も多く、次いで「5年以上7年未満」(24.0%)、「3年以上5年未満」(18.3%)と続いている。



■ 1年未満 ■ 1年以上3年未満 ■ 3年以上5年未満 ■ 5年以上7年未満 ■ 7年以上 ■ 無回答

問5 あなたは、主任ケアマネジャー（主任介護支援専門員）の資格を有していますか。（1つに○）

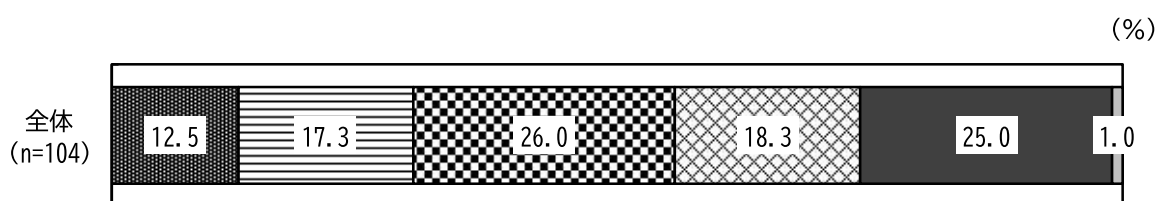
- ・「ある」が21.2%、「ない」が76.9%となっている。



■ ある ■ ない ■ 無回答

問6 あなたは、現在の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして在籍している期間はどのくらいですか。（1つに○）

- ・「3年以上5年未満」(26.0%)が最も多く、次いで「7年以上」(25.0%)、「5年以上7年未満」(18.3%)、「1年以上3年未満」(17.3%)と続いている。

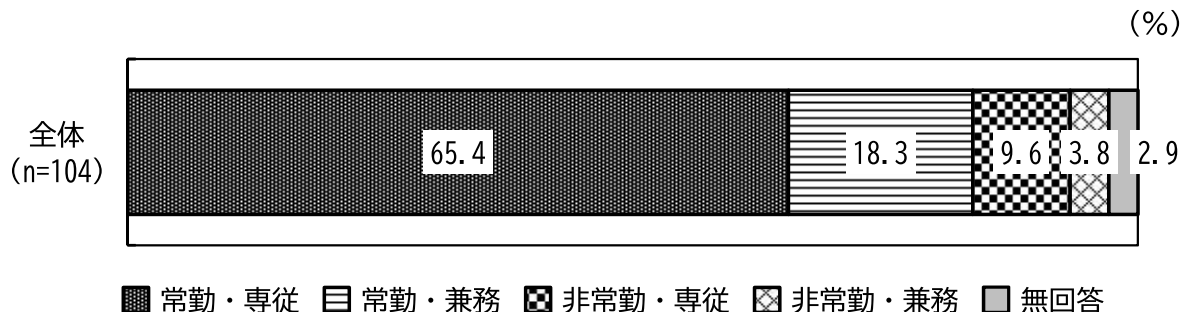


■ 1年未満 ■ 1年以上3年未満 ■ 3年以上5年未満 ■ 5年以上7年未満 ■ 7年以上 ■ 無回答

(2) ケアマネジャー業務の担当状況について

問7 あなたの勤務形態をお答えください。(1つに○)

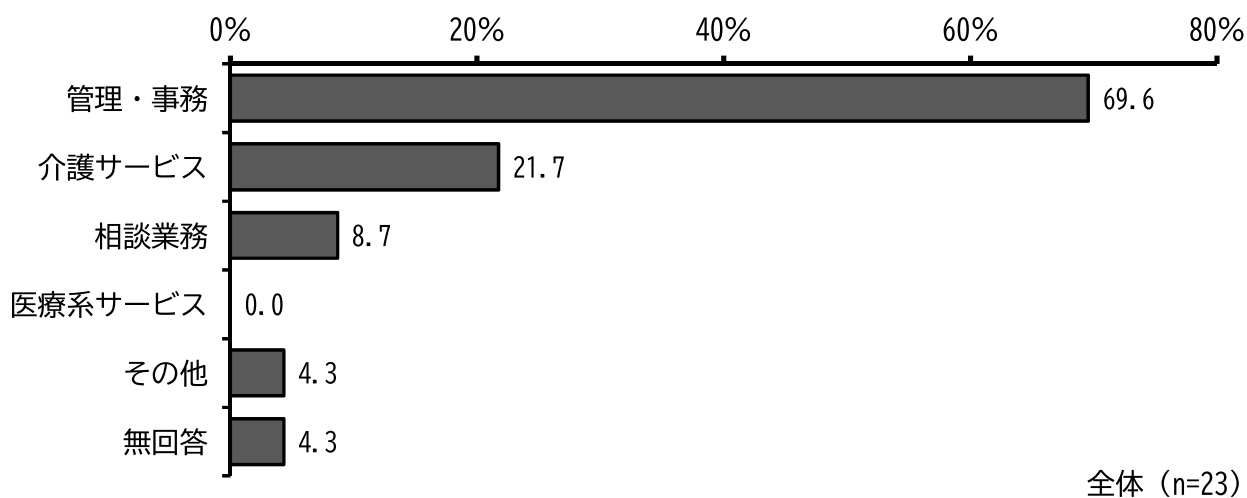
- ・「常勤・専従」(65.4%)が最も多く、次いで「常勤・兼務」(18.3%)、「非常勤・専従」(9.6%)となっている。



«問7で「2」又は「4」と答えた方におたずねします»

問7-1 どのような業務を兼務していますか。(いくつでも○)

- ・「管理・事務」(69.6%)が最も多く、次いで「介護サービス」(21.7%)、「相談業務」(8.7%)となっている。

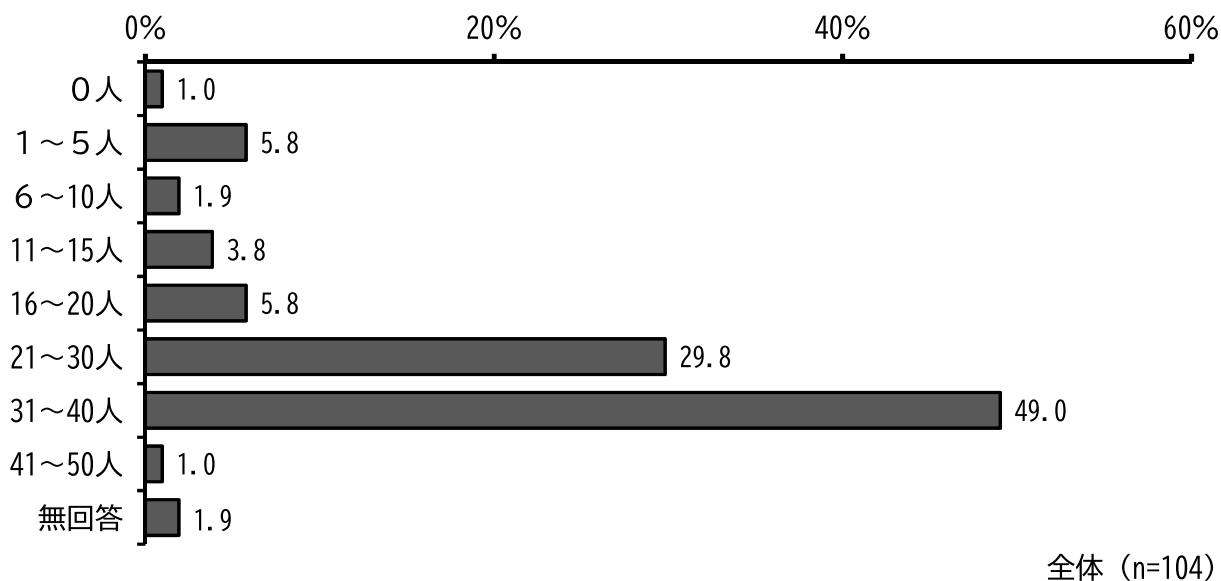


(3) ケアプランの作成状況について

問8 令和元年9月末現在、あなたが担当している利用者数（一時的入院中などを含め、継続的に関わっている総利用者数）をご記入ください。担当している利用者や件数がない場合には「0」と記入してください。

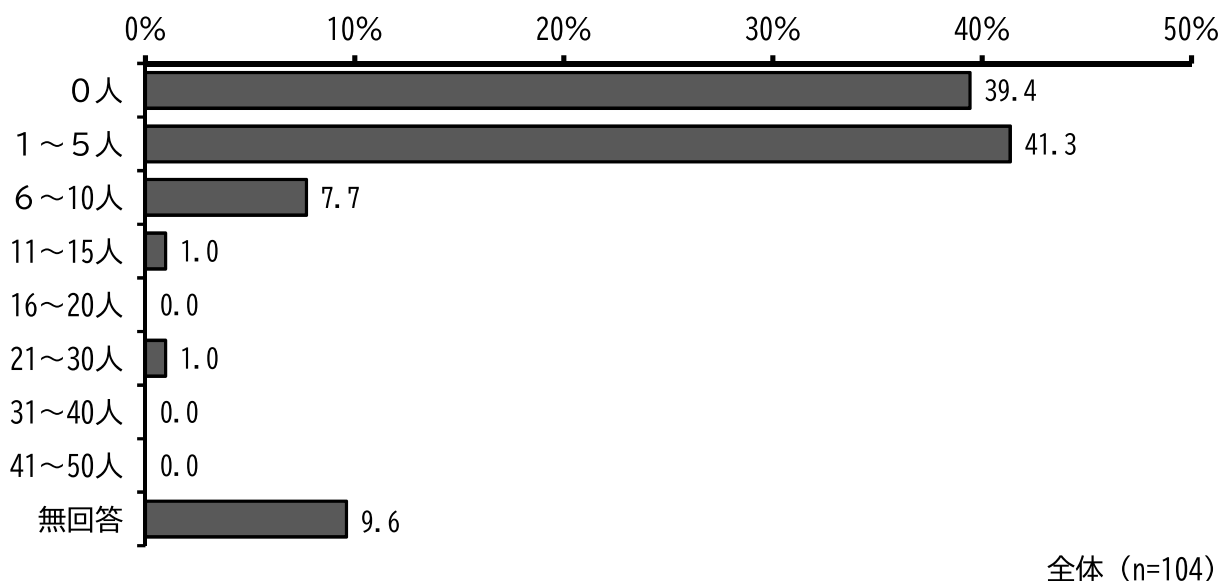
【要介護1～5】

- ・「31～40人」(49.0%)が最も多く、次いで「21～30人」(29.8%)、「1～5人」(5.8%)、「16～20人」(5.8%)、「11～15人」(3.8%)と続いている。



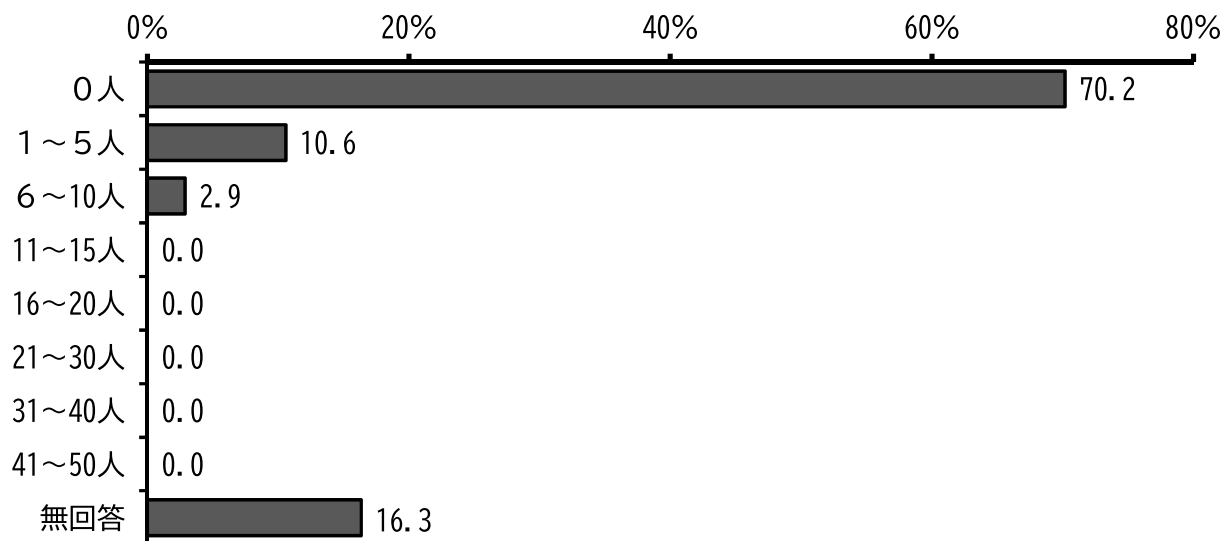
【介護予防プラン（要支援1・2）】

- ・「1～5人」(41.3%)が最も多く、次いで「0人（なし）」(39.4%)、「6～10人」(7.7%)、と続いている。



【介護予防・日常生活総合事業対象者】

- ・「0人（なし）」(70.2%)が最も多く、次いで「1～5人」(10.6%)、「6～10人」(2.9%)となっている。



全体 (n=104)

《居宅介護支援事業所の管理者（又は管理者に類する方）におたずねします》

問 8-1 介護予防プランの作成を受託していない場合、その理由を具体的にお書きください。

※集計中

《居宅介護支援事業所の管理者（又は管理者に類する方）におたずねします》

問 8-2 介護予防プランの受託件数を増やすうえで課題となることは何ですか。具体的にお書きください。

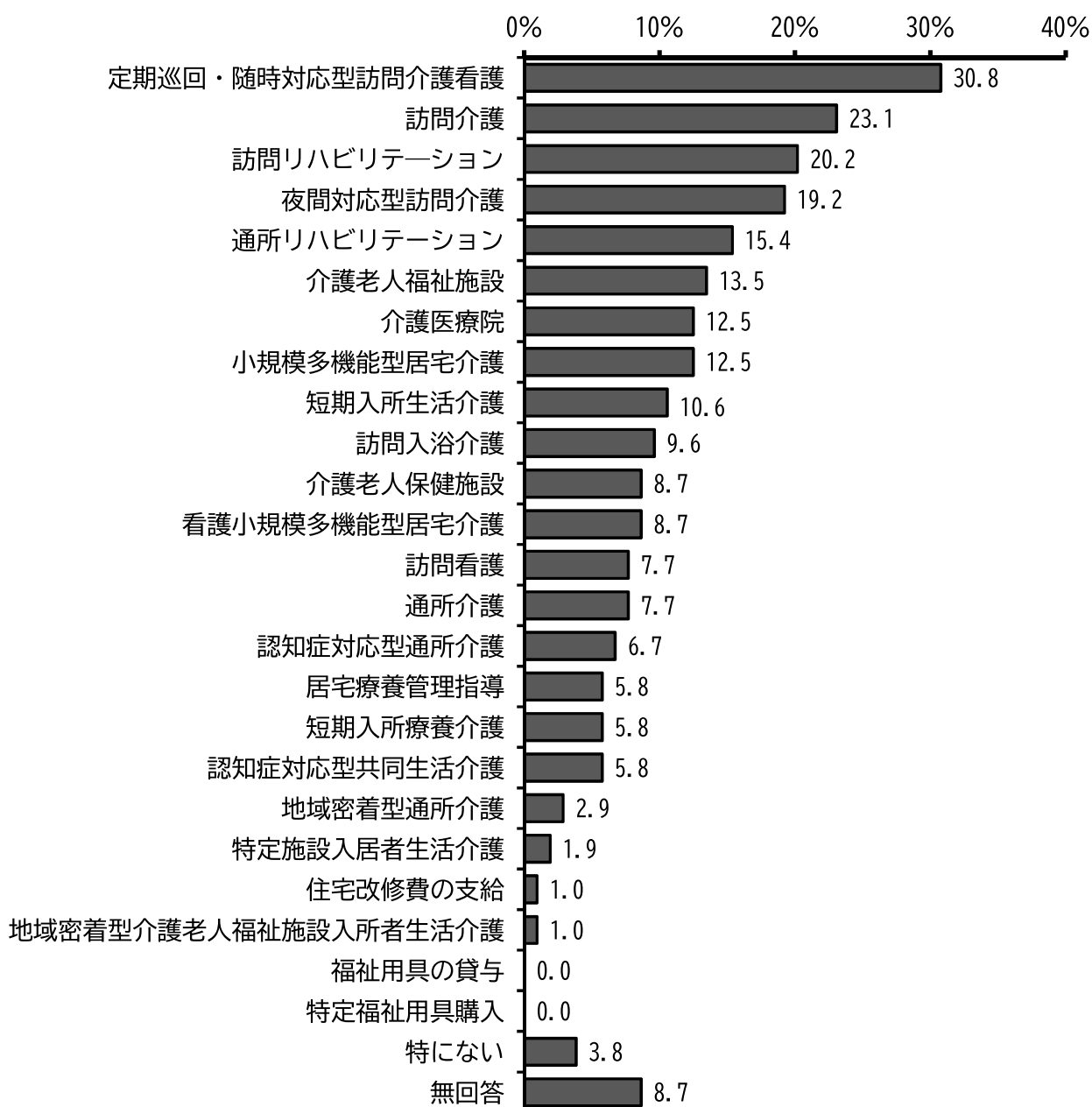
※集計中

(4) 担当地域におけるサービスの状況について

問9 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス、また、ケアプランに組み入れにくいサービス、今後必要性がより高まるとされるサービスはありますか。(それぞれ3つまで選んで番号を記入)

(1) 量的に不足しているサービス

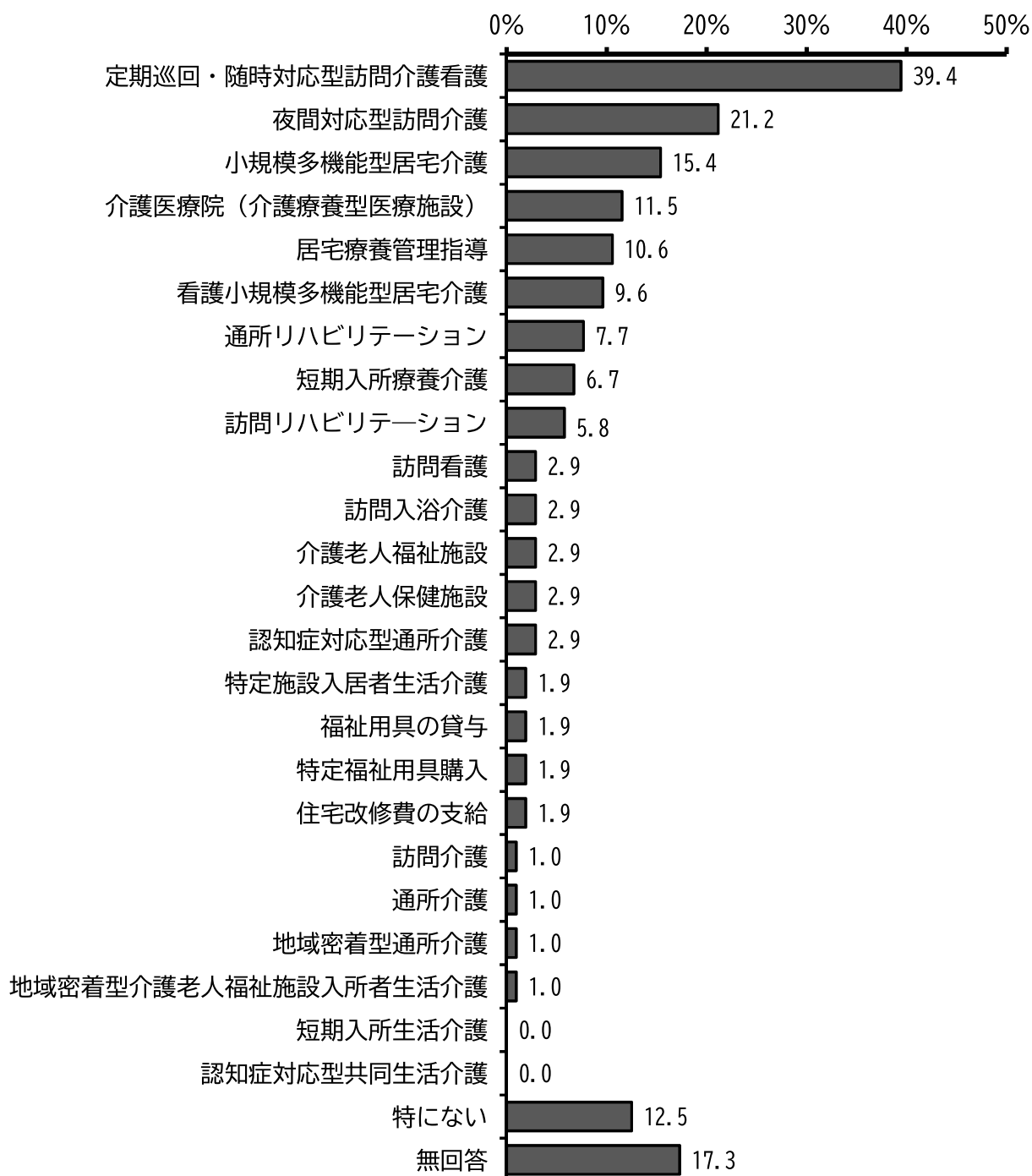
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(30.8%)が最も多く、次いで「訪問介護」(23.1%)、「訪問リハビリテーション」(20.2%)、「夜間対応型訪問介護」(19.2%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は3.8%となっている。



全体 (n=104)

(2) ケアプランに組み入れにくいサービス

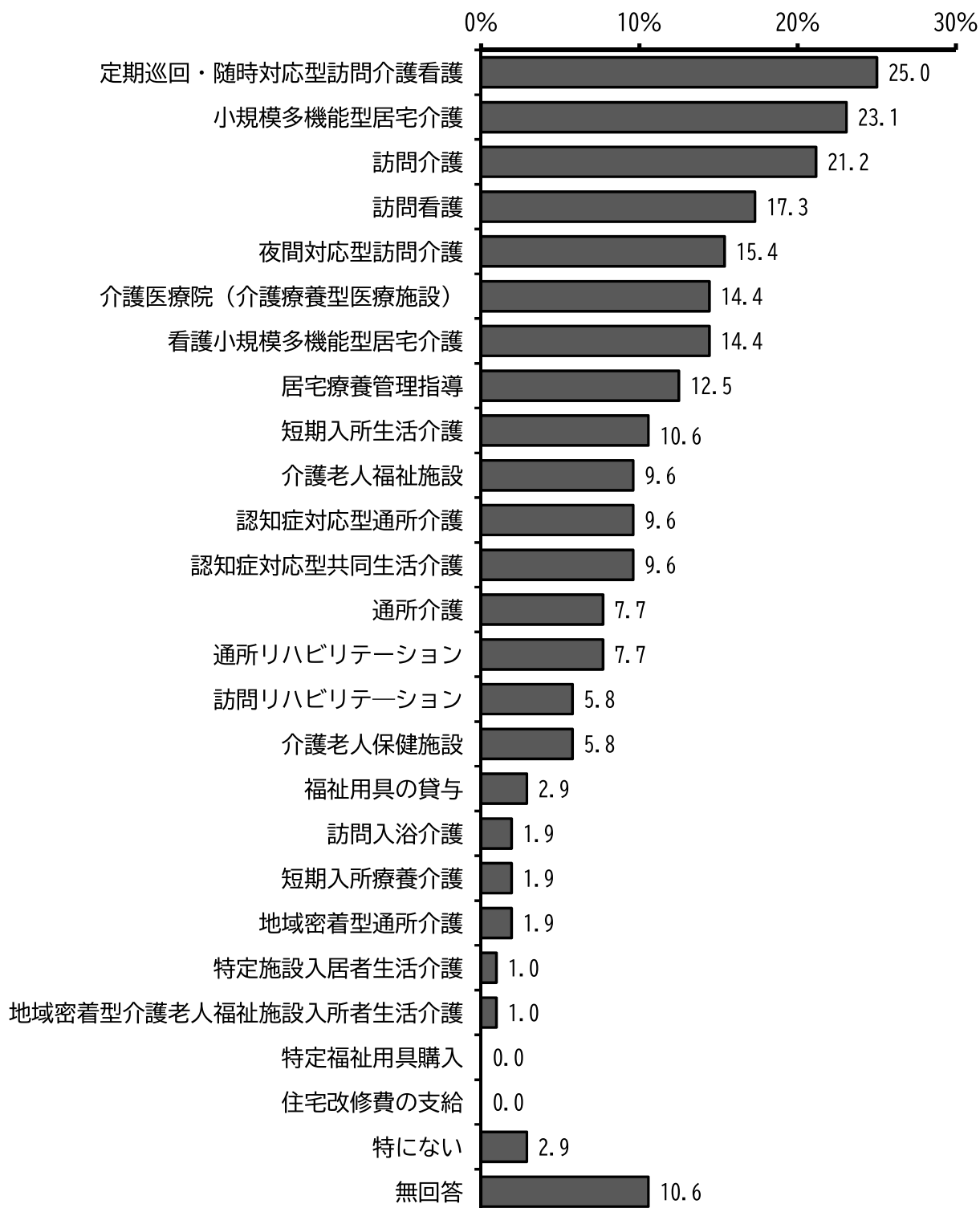
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(39.4%)が最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」(21.2%)、「小規模多機能型居宅介護」(15.4%)、「介護医療院（介護療養型医療施設）」(11.5%)、「居宅療養管理指導」(10.6%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は12.5%となっている。



全体 (n=104)

(3) 今後必要性がより高まるとされるサービス

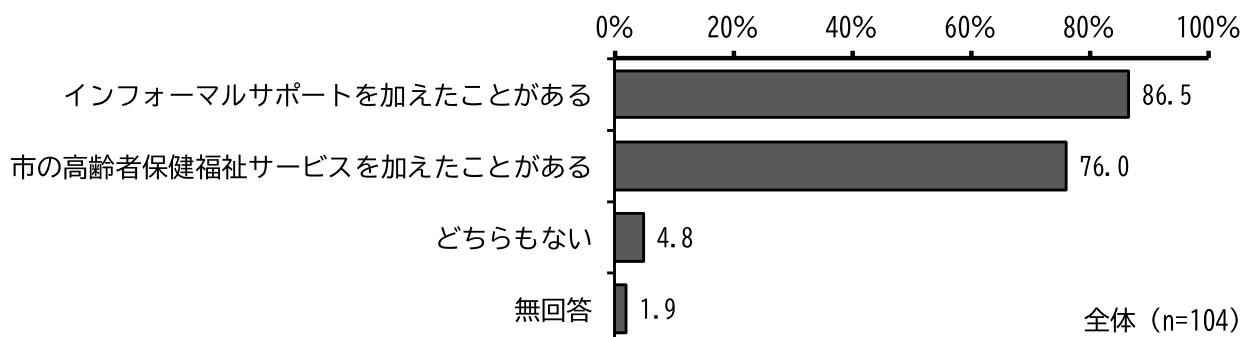
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(25.0%)が最も多く、次いで「小規模多機能型居宅介護」(23.1%)、「訪問介護」(21.2%)、「訪問看護」(17.3%)、「夜間対応型訪問介護」(15.4%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は2.9%となっている。



全体 (n=104)

**問 10 あなたは、介護保険サービス以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがありますか。
(いくつでも○)**

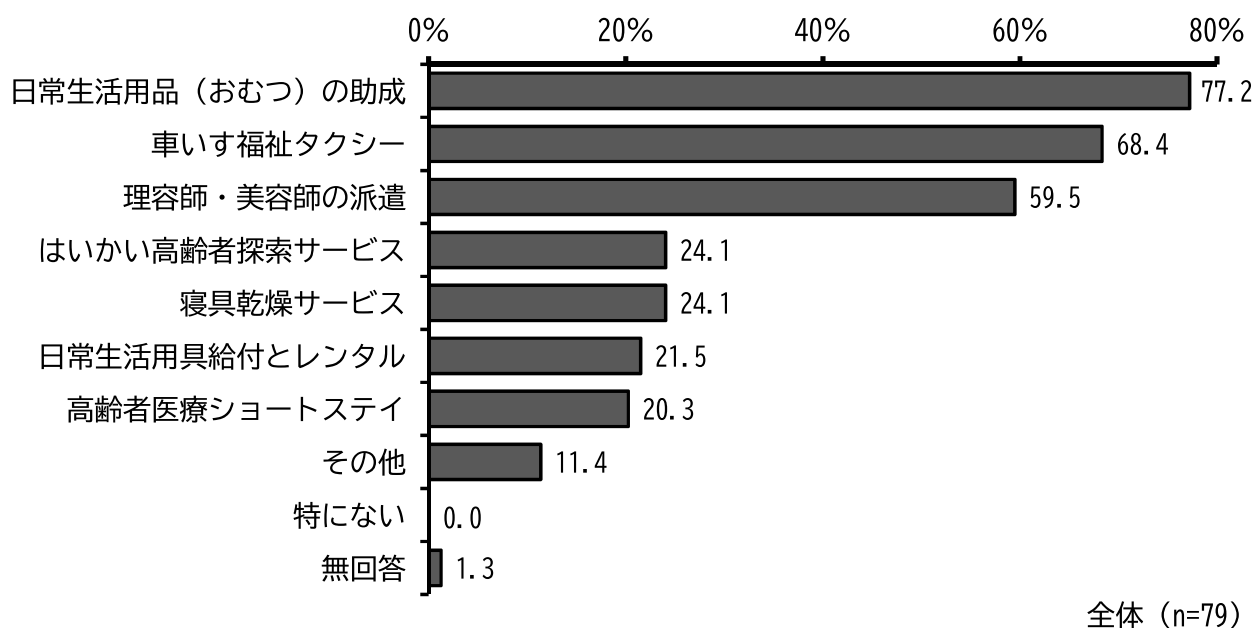
- ・「市の高齢者保健福祉サービスを加えたことがある」が76.0%、「インフォーマルサポートを加えたことがある」が86.5%、「どちらもない」が4.8%となっている。



«問 10 で「1」とお答えの方におたずねします»

問 10-1 ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービスはどれですか。(いくつでも○)

- ・「日常生活用品（おむつ）の助成」(77.2%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(68.4%)、「理容師・美容師の派遣」(59.5%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は0.0%となっている。

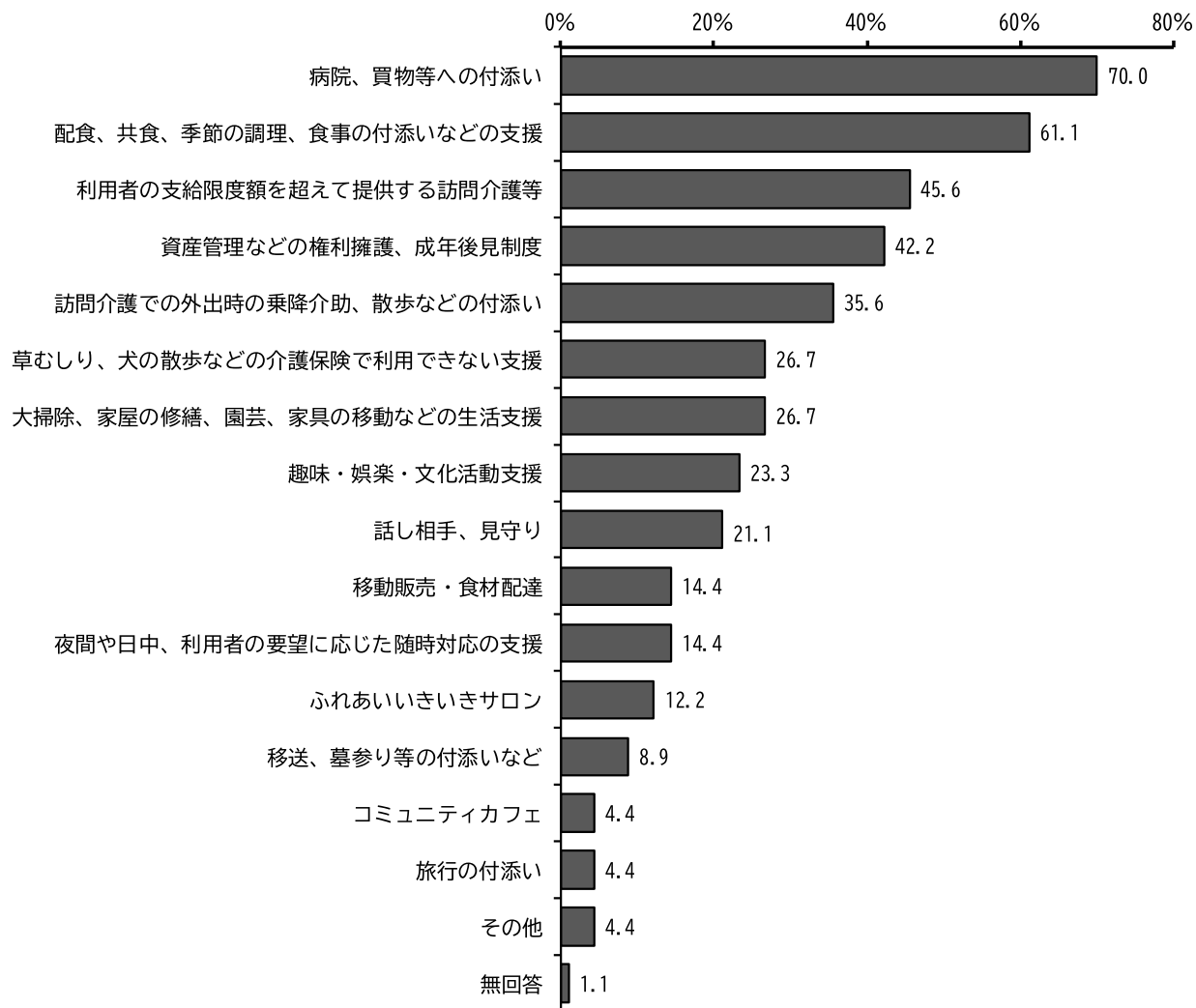


「問 10 で「2」とお答えの方におたずねします」

問 10-2 ケアプランに加えたインフォーマルサポートはどのような内容のものですか。

(いくつでも○)

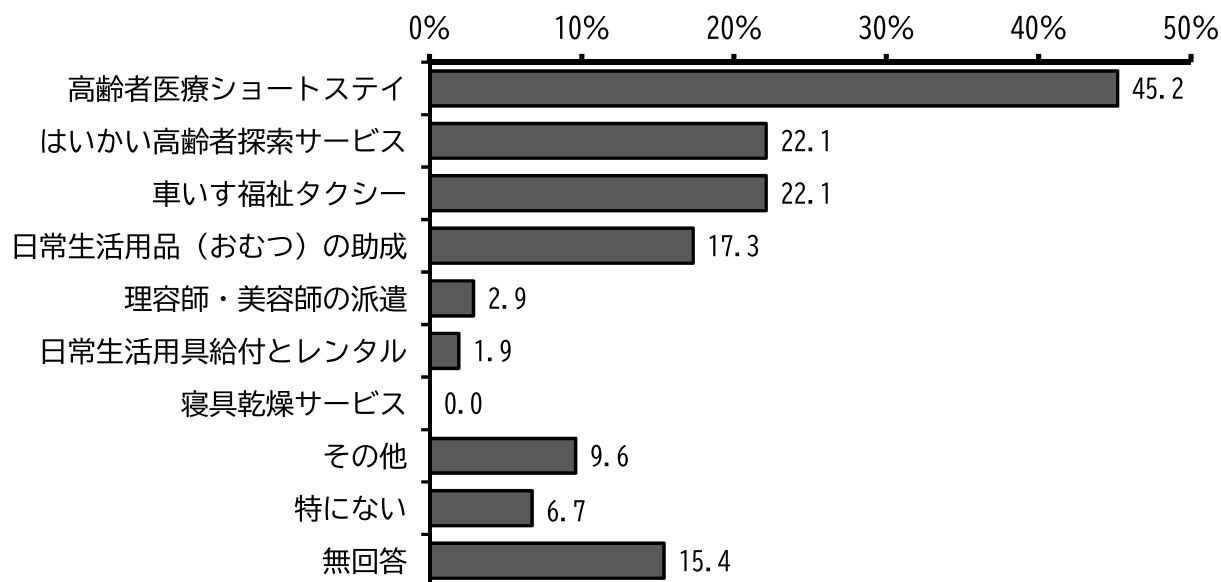
- ・「病院、買物等への付添い」(70.0%)が最も多く、次いで「配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援」(61.1%)、「利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等」(45.6%)、「資産管理などの権利擁護、成年後見制度」(42.2%)、「訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付添い」(35.6%)と続いている。



全体 (n=90)

問 11 今後一層の充実が必要と感じる高齢者保健福祉サービスは次のどれですか。（2つまでに○）

- ・「高齢者医療ショートステイ」(45.2%)が最も多く、次いで「はいかい高齢者探索サービス」「車いす福祉タクシー」(ともに22.1%)、「日常生活用品（おむつ）の助成」(17.3%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は6.7%となっている。



全体 (n=104)

《問 11 で「1」～「8」とお答えの方におたずねします》

問 11-1 その理由を具体的にお書きください。

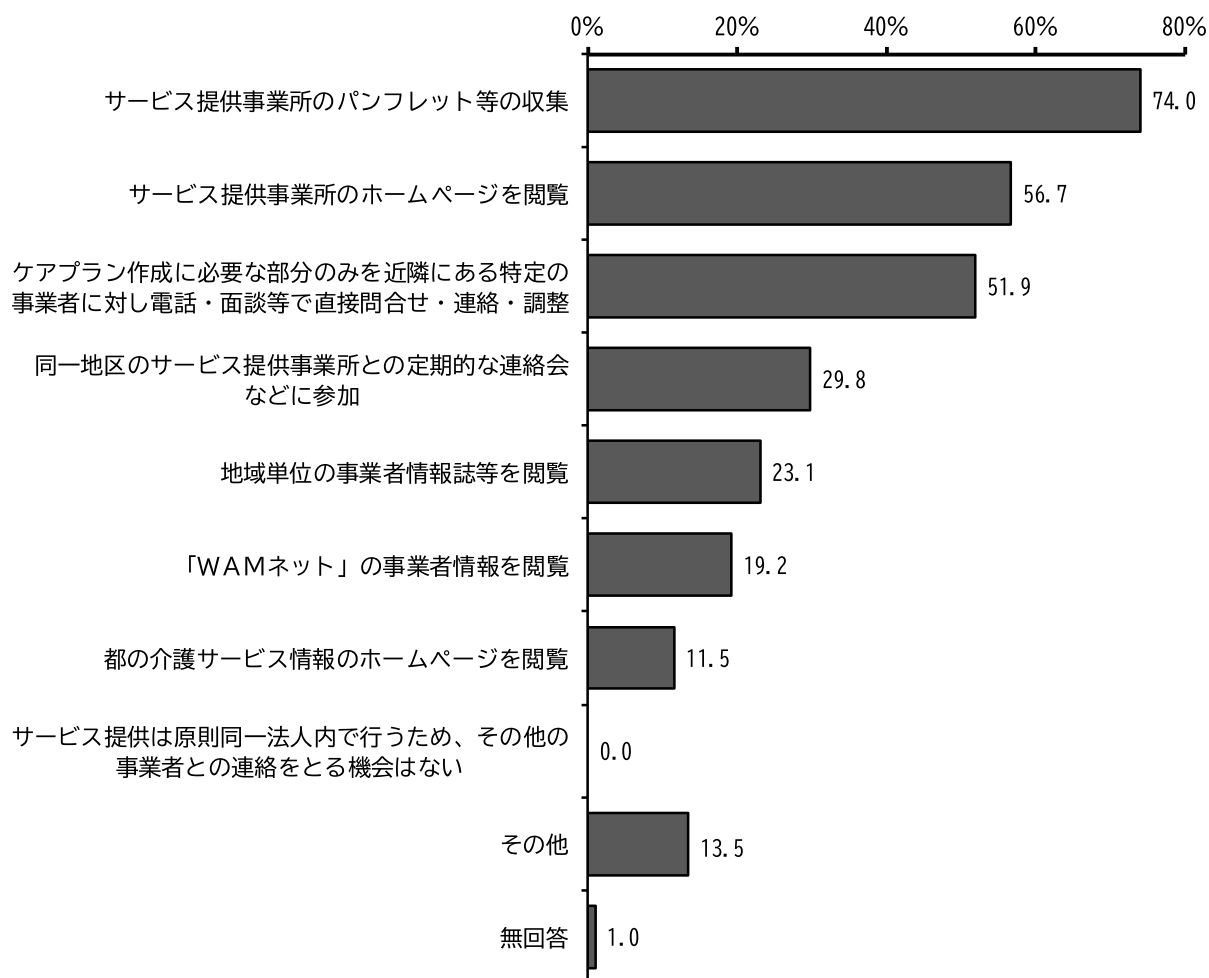
※集計中

(5) サービス提供事業所等との関わりについて

問 12 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。

(いくつでも○)

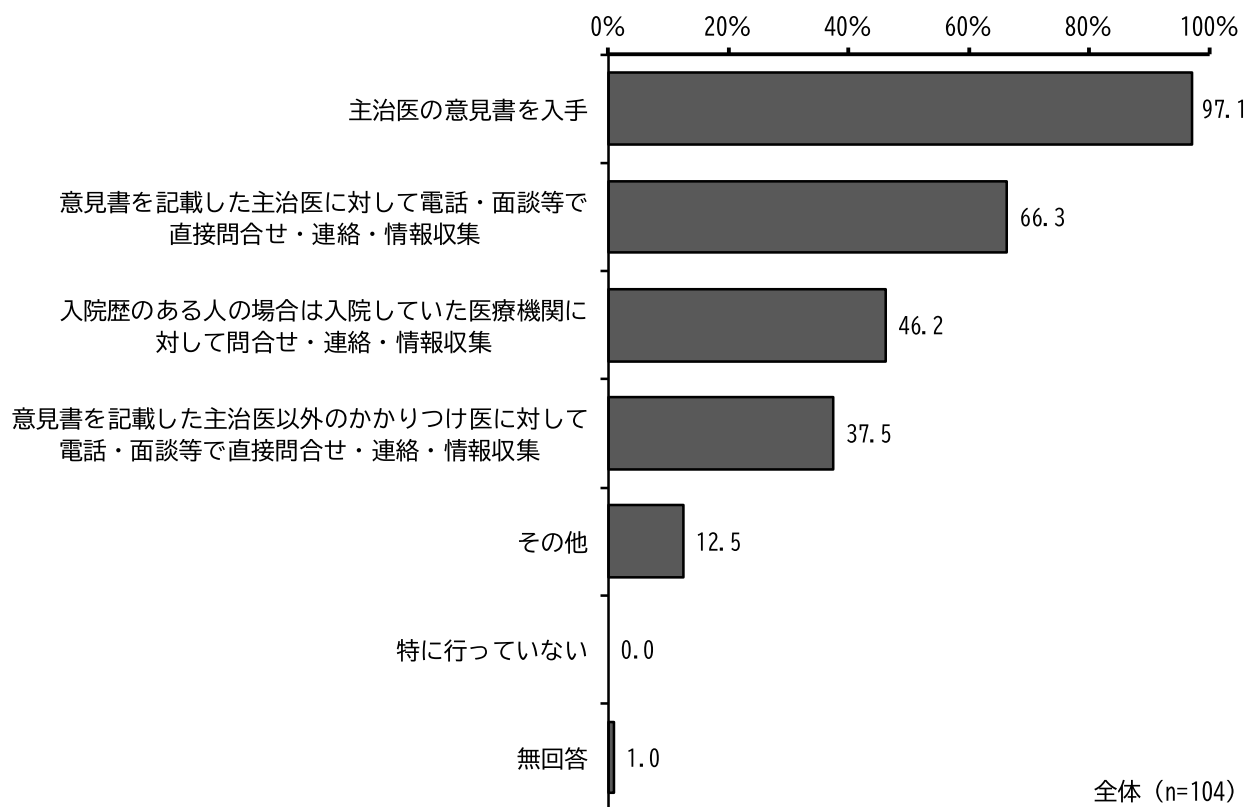
- ・「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」(74.0%)が最も多く、次いで「サービス提供事業所のホームページを閲覧」(56.7%)、「ケアプラン作成に必要な部分のみを近隣にある特定の事業者に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整」(51.9%)と続いている。



全体 (n=104)

問 13 ケアプラン作成にあたり、医療機関等からの情報収集を行っていますか。(いくつでも○)

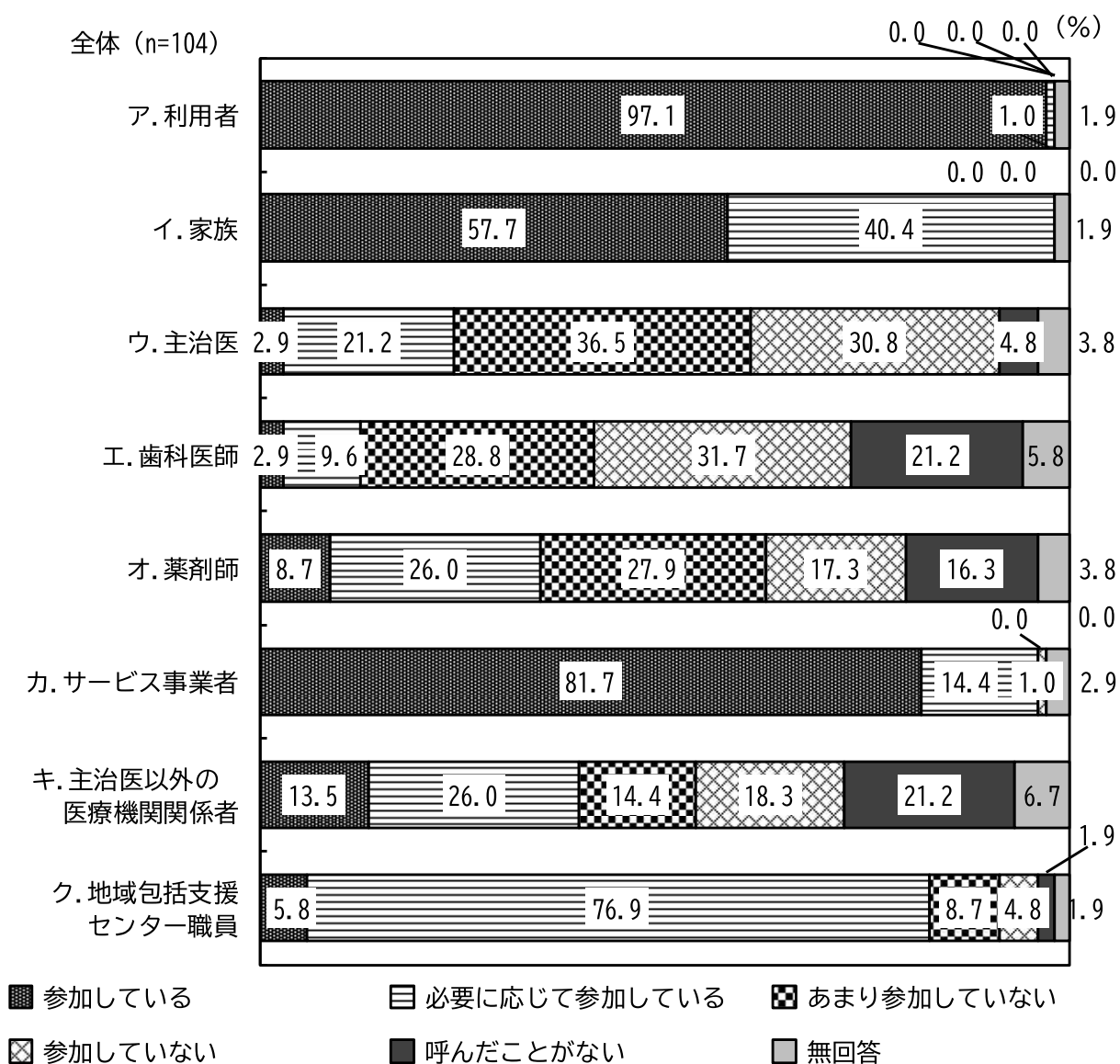
- ・「主治医の意見書を入手」(97.1%)が最も多く、次いで「意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集」(66.3%)、「入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集」(46.2%)、「意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集」(37.5%)と続いている。
- ・一方、「特に行っていない」は0.0%となっている。



(6) サービス担当者会議について

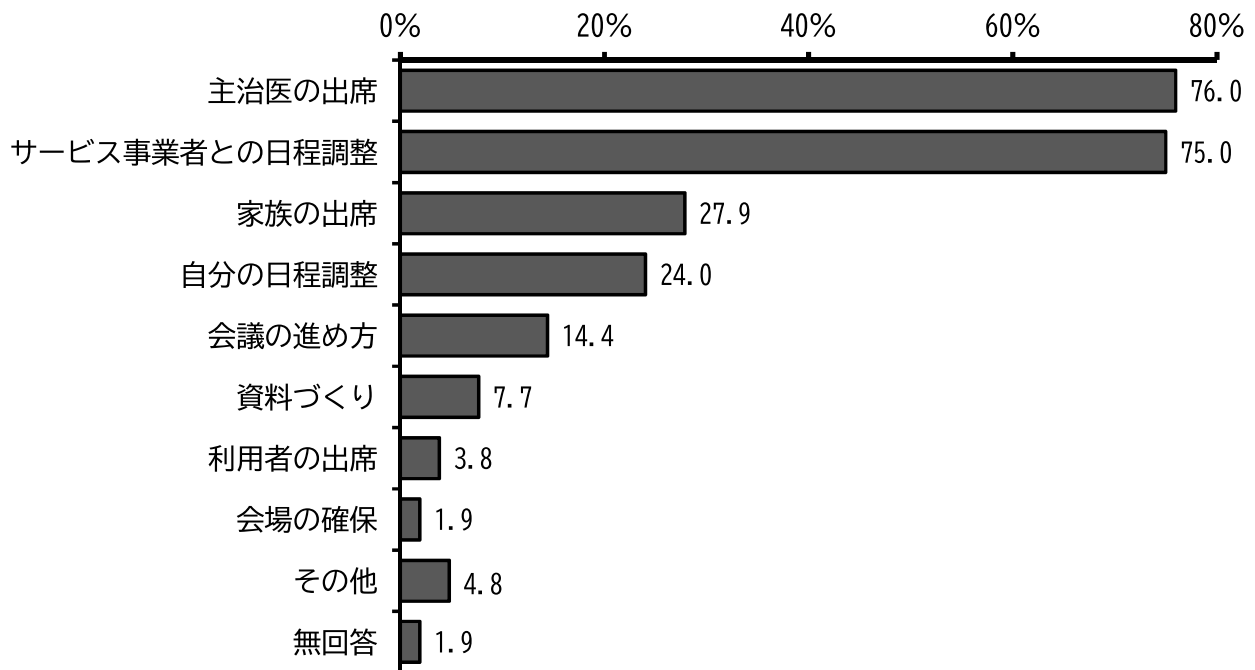
問 14 サービス担当者会議への参加状況（電話、FAX、メールを含む）についてお答えください。
（平成30年10月1日～令和元年9月30日）（それぞれ1つに○）

- ・「参加している」と「必要に応じて参加している」を合わせた割合は、『ア. 利用者』と『イ. 家族』（ともに98.1%）が最も多く、次いで『カ. サービス事業者』（96.1%）、『ク. 地域包括支援センター職員』（82.7%）、『キ. 主治医以外の医療機関関係者』（39.5%）と続いている。
- ・一方、「あまり参加していない」と「参加していない」を合わせた割合は、『ウ. 主治医』（67.3%）が最も多く、次いで『工. 歯科医師』（60.5%）、『オ. 薬剤師』（45.2%）、『キ. 主治医以外の医療機関関係者』（32.7%）、『ク. 地域包括支援センター職員』（13.5%）と続いている。
- ・また、「呼んだことがない」は『工. 歯科医師』と『キ. 主治医以外の医療機関関係者』（21.2%）が最も高く、次いで『オ. 薬剤師』（16.3%）、『ウ. 主治医』（4.8%）と続いている。



問 15 サービス担当者会議の開催にあたって、困難と感ずることは何ですか。(いくつでも○)

- ・「主治医の出席」(76.0%)が最も多く、次いで「サービス事業者との日程調整」(75.0%)、「家族の出席」(27.9%)、「自分の日程調整」(24.0%)と続いている。



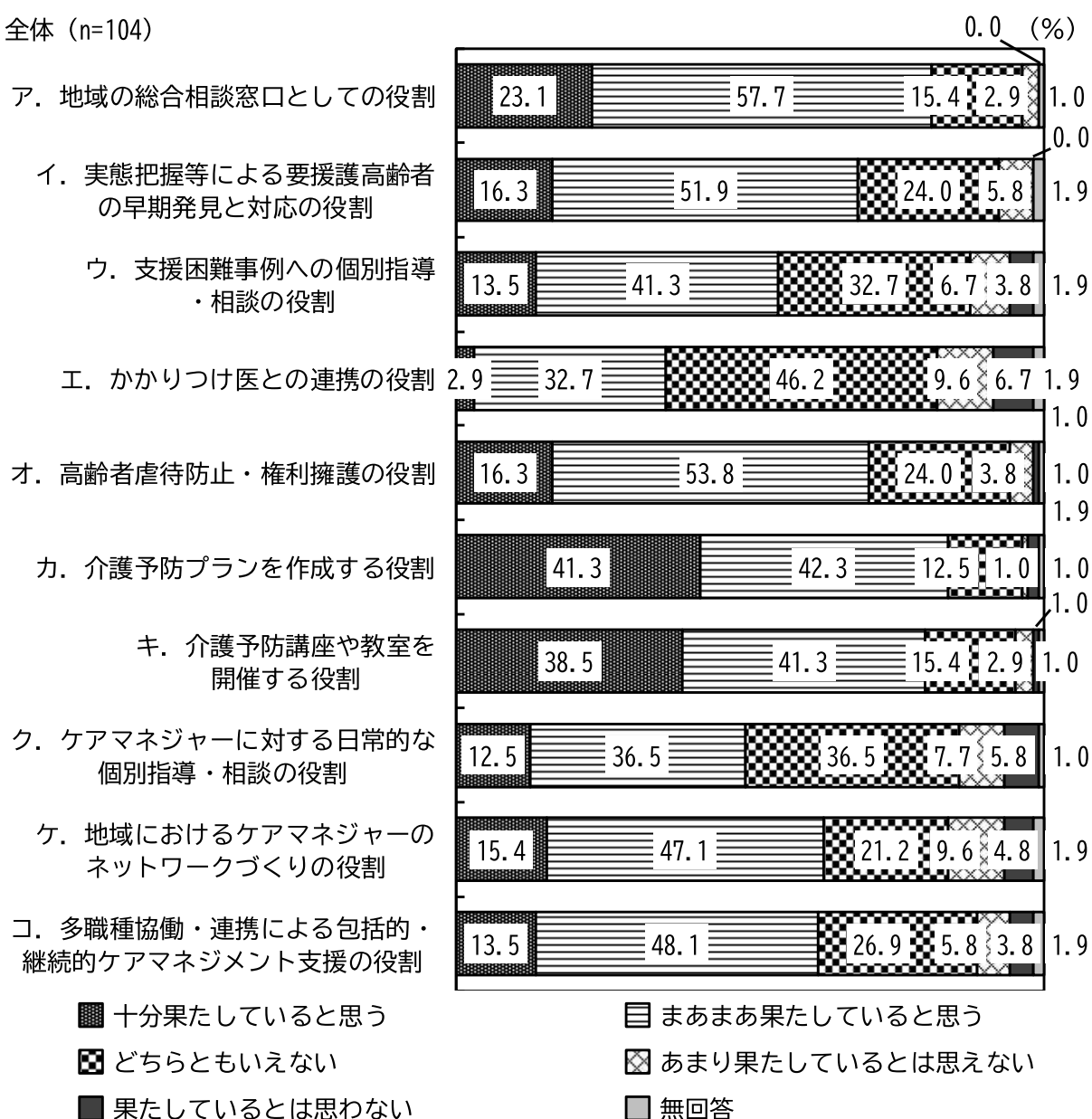
全体 (n=104)

(7) 地域包括支援センターの役割について

問 16 市内の地域包括支援センターは、その役割を果たしていると思いますか。次の各項目についてお答えください。(ア～コそれぞれ1つに○)

- ・「十分果たしていると思う」と「まあまあ果たしていると思う」を合わせた割合は、『カ. 介護予防プランを作成する役割』(83.6%)が最も多く、次いで『ア. 地域の総合相談窓口としての役割』(80.8%)、『キ. 介護予防講座や教室を開催する役割』(79.8%)、『オ. 高齢者虐待防止・権利擁護の役割』(70.1%)、『イ. 実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割』(68.2%)と続いている。
- ・一方、「あまり果たしているとは思えない」と「果たしているとは思わない」を合わせた割合は、『エ. かかりつけ医との連携の役割』(16.3%)が最も多く、次いで『ケ. 地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割』(14.4%)、『ク. ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割』(13.5%)、『ウ. 支援困難事例への個別指導・相談の役割』(10.5%)と続いている。

全体 (n=104)

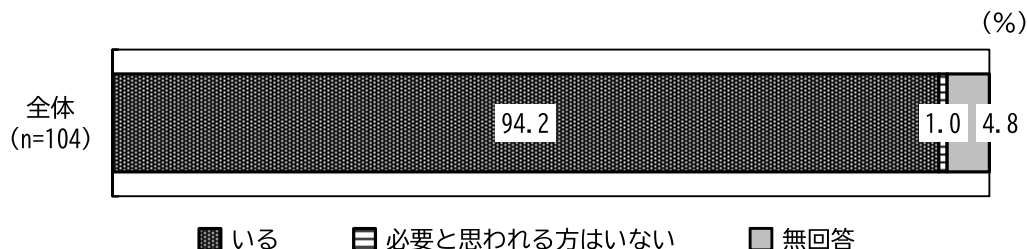


(8) サービス利用者の在宅医療の状況について

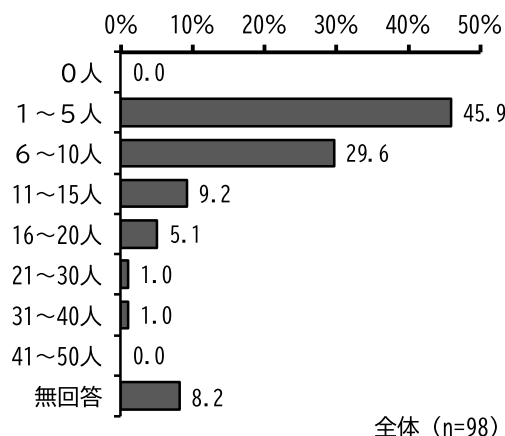
問 17 あなたが担当している利用者の中に、訪問診療、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。(それぞれ1つに○)

【ア. 訪問診療】

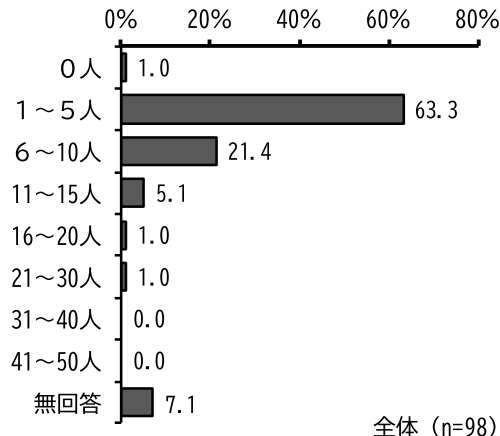
- ・「いる」が94.2%、「必要と思われる方はいない」が1.0%となっている。



■ア. 訪問診療：必要者数

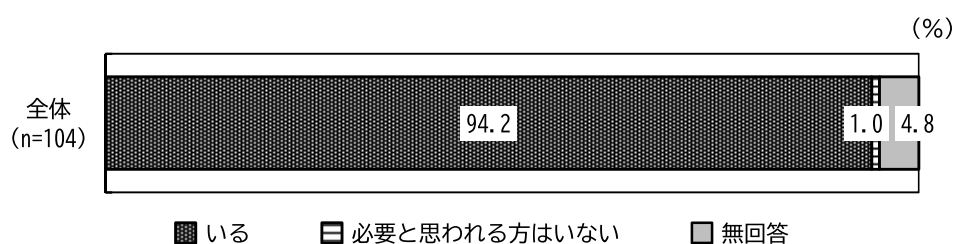


■ア. 訪問診療：現利用者数

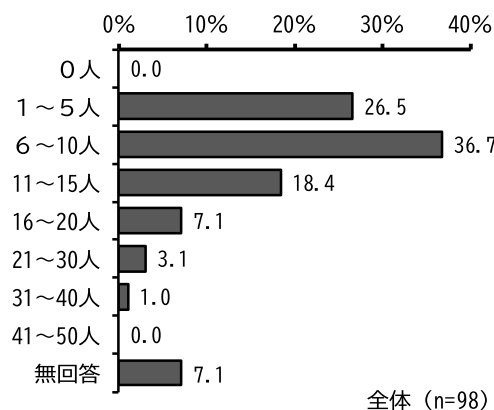


【イ. 訪問看護】

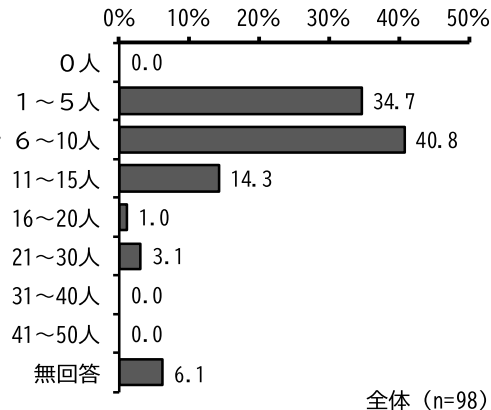
- ・「いる」が94.2%、「必要と思われる方はいない」が1.0%となっている。



■イ. 訪問看護：必要者数

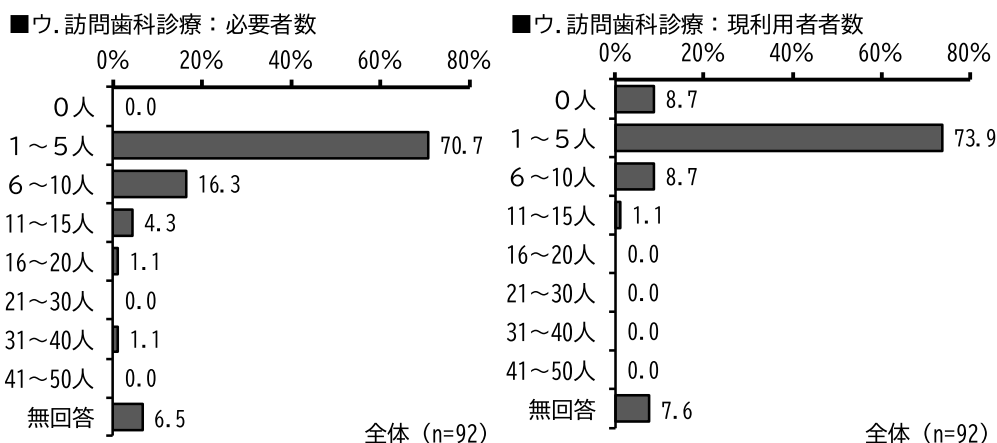
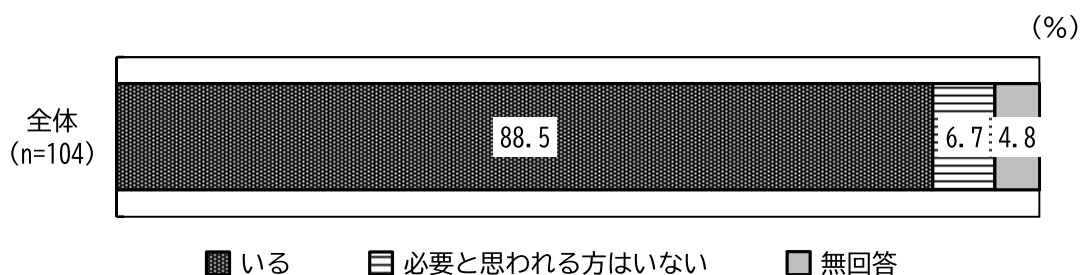


■イ. 訪問看護：現利用者数



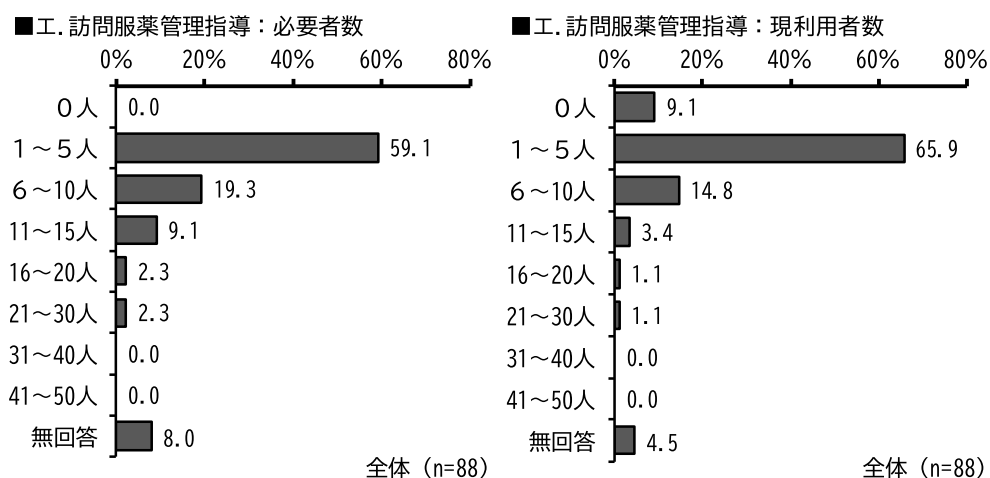
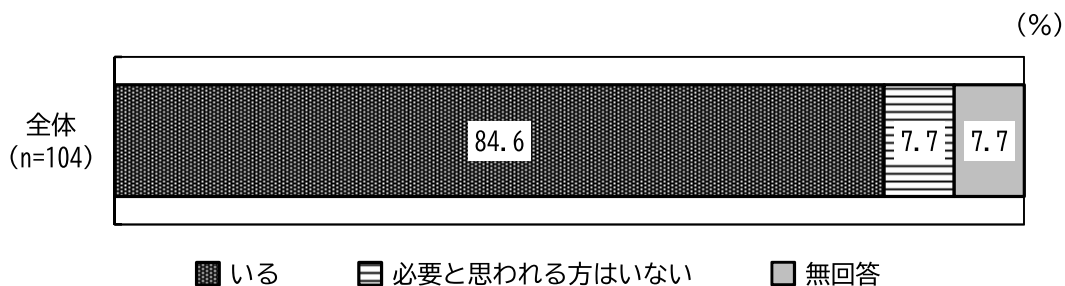
【ウ. 訪問歯科診療】

- ・「いる」が88.5%、「必要と思われる方はいない」が6.7%となっている。



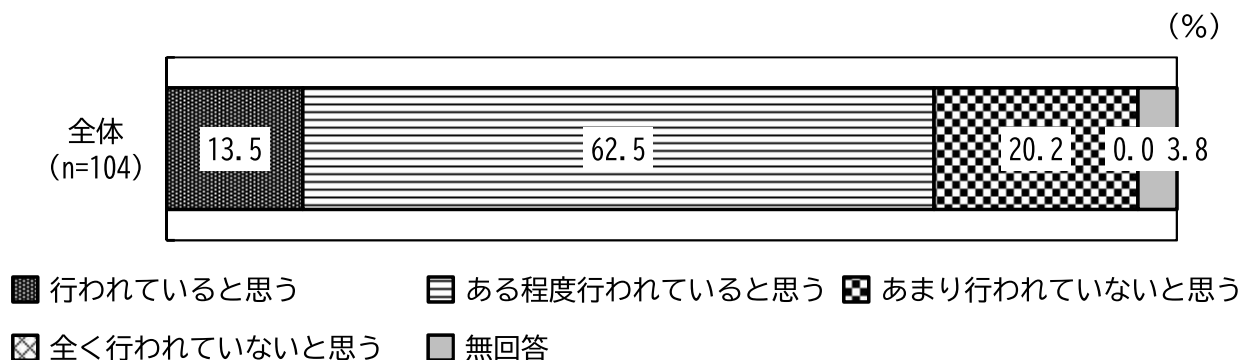
【エ. 訪問服薬管理指導】

- ・「いる」が84.6%、「必要と思われる方はいない」が7.7%となっている。



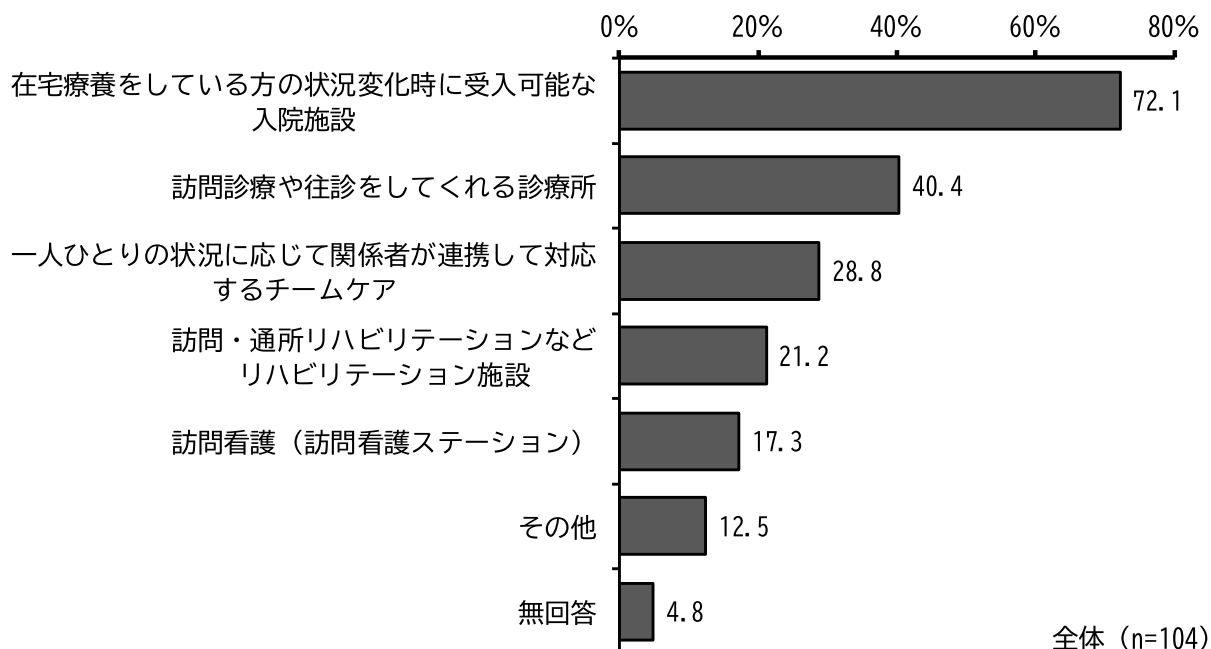
問 18 あなたは、専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。（1つに○）

- ・「行われていると思う」（13.5%）、「ある程度行われていると思う」（62.5%）を合わせた割合は76%となっている。一方、「あまり行われていないと思う」（20.2%）、「全く行われていないと思う」（0.0%）を合わせた割合は20.2%となっている。



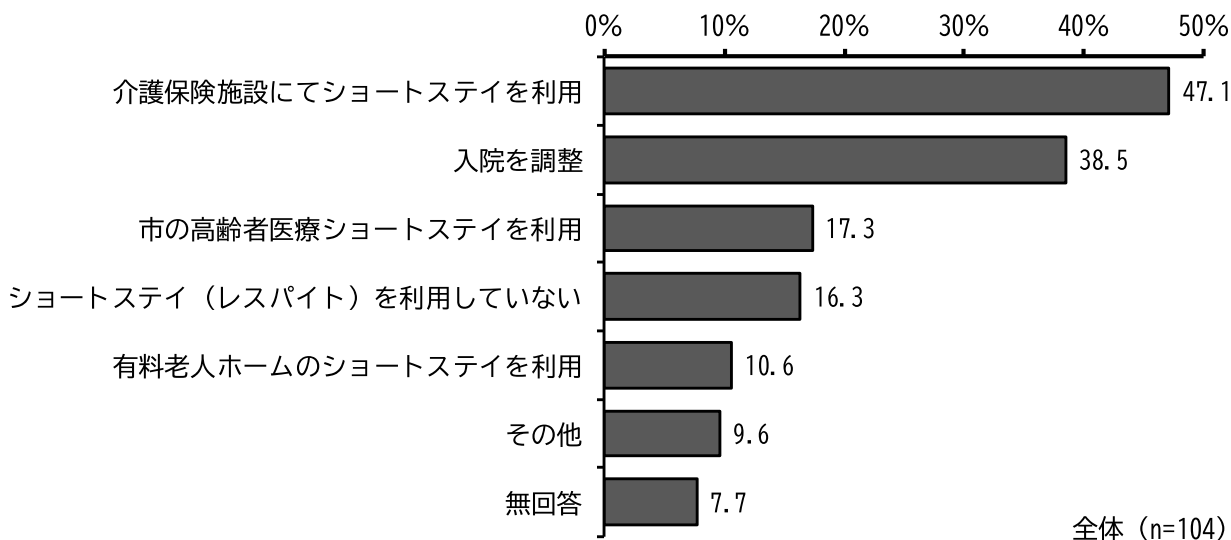
問 19 あなたは、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能は何だと考えますか。（いくつでも○）

- ・「在宅療養をしている方の状況変化時に受入可能な入院施設」（72.1%）が最も多く、次いで「訪問診療や往診をしてくれる診療所」（40.4%）、「一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア」（28.8%）、「訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設」（21.2%）と続いている。



問 20 医療的ケア（胃ろう、吸引、インスリン、人工肛門など）が必要な利用者のショートステイ（レスパイト）に関して、どのように対応されていますか。（いくつでも○）

- ・「介護保険施設にてショートステイを利用」(47.1%)が最も多く、次いで「入院を調整」(38.5%)、「市の高齢者医療ショートステイを利用」(17.3%)、「ショートステイ（レスパイト）を利用していない」(16.3%)と続いている。



問 21 今後、医療的ケアが必要な在宅療養者が増加することが考えられます。このとき、在宅療養を継続するうえで必要と思われる支援・サービスを具体的にお書きください。

※集計中

問 22 後方支援病床利用調整事業について利用したことがありますか。（1つに○）

- ・「利用したことがある」が 1.9%、「利用したことが無い」が 80.8%、「本事業を知らなかった」が 15.4%となっている。



《問 22 で「2」、「3」とお答えの方におたずねします》

問 22-1 その理由を具体的にお書きください。

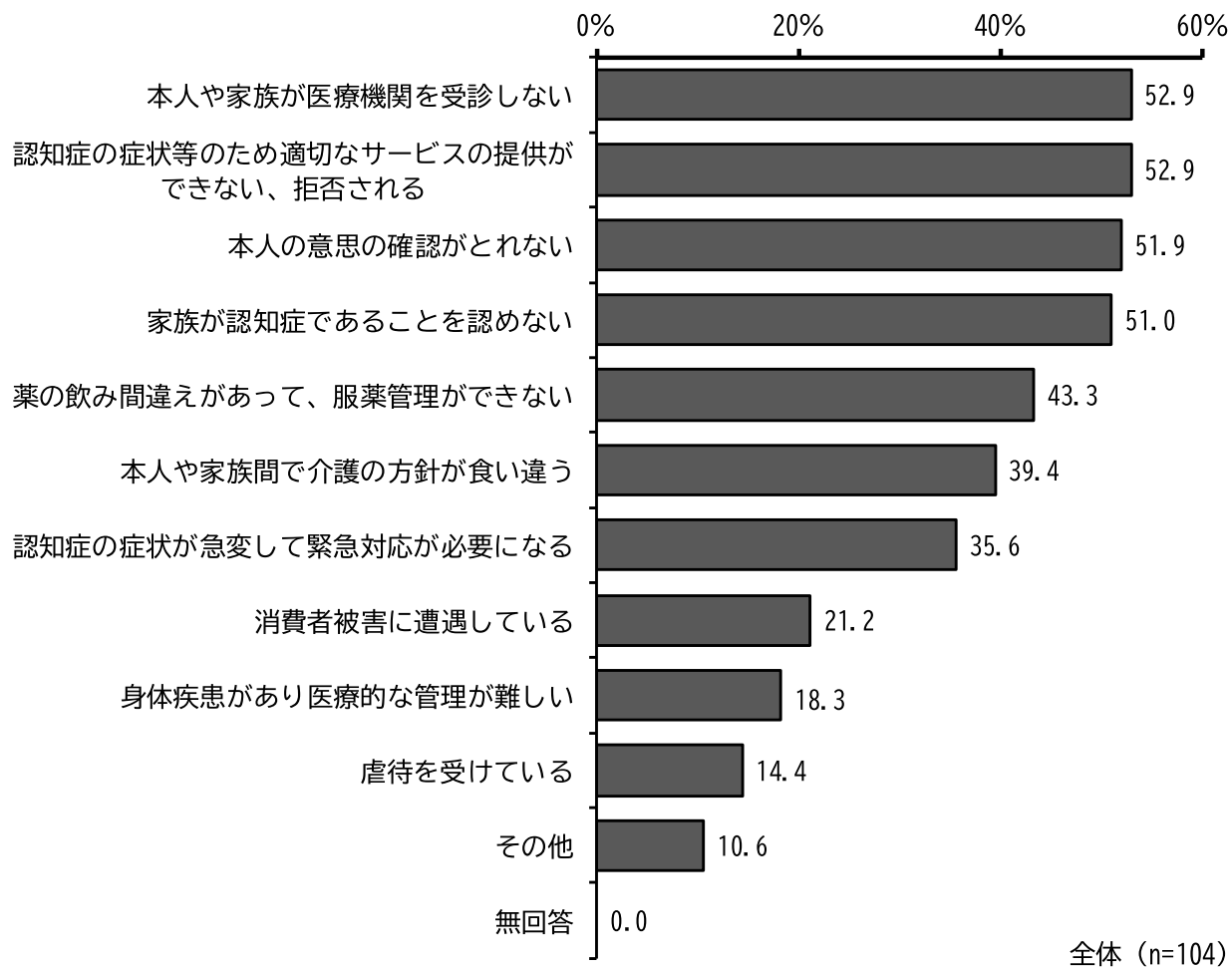
※集計中

(9) 認知症患者のサービス利用について

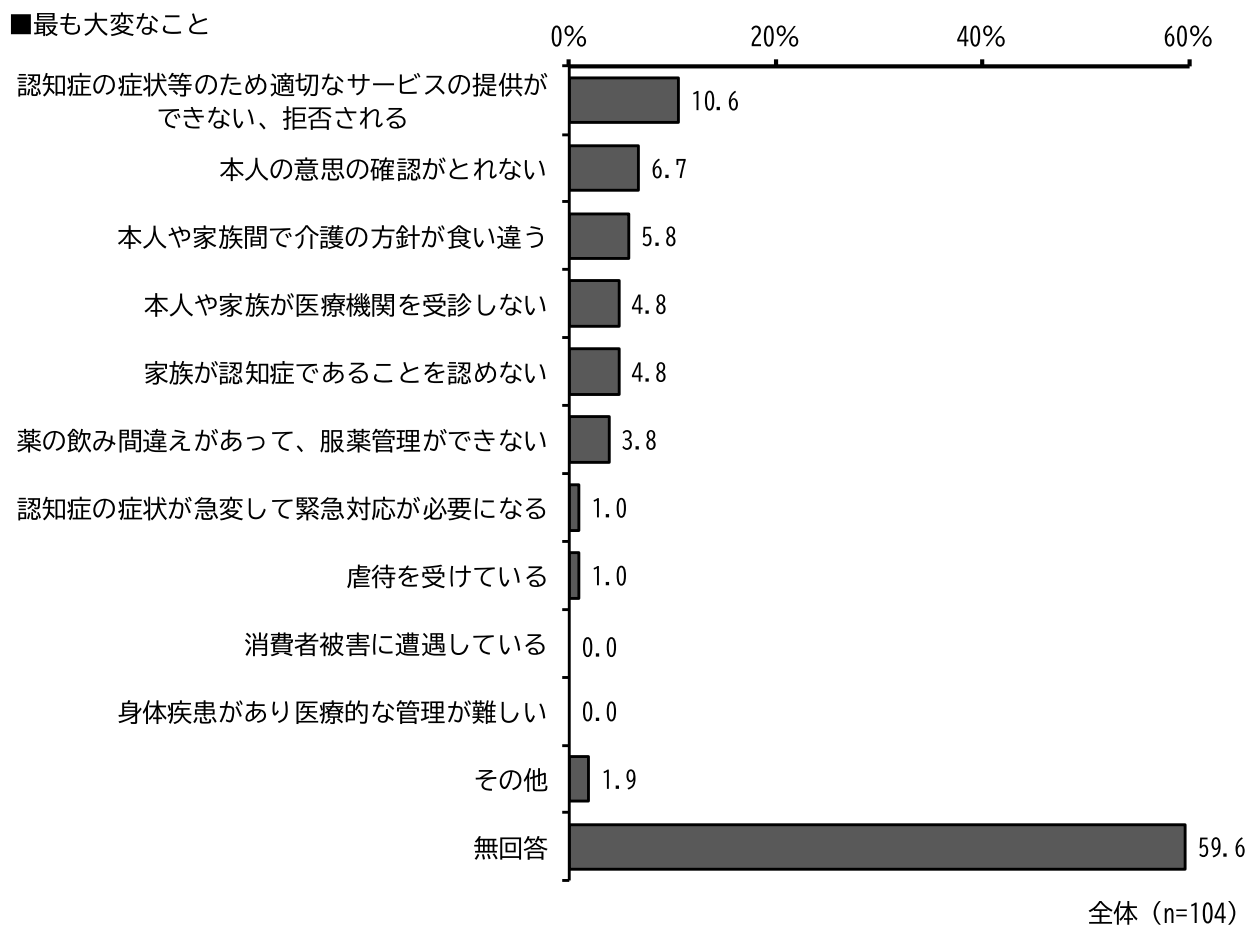
問 23 あなたが担当している認知症の利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。(いくつでも○、最も大変なことに◎)

- ・実際にあることは、「本人や家族が医療機関を受診しない」と「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」(ともに 52.9%)が最も多く、次いで「本人の意思の確認がとれない」(51.9%)、「家族が認知症であることを認めない」(51.0%)と続いている。

■実際にあること



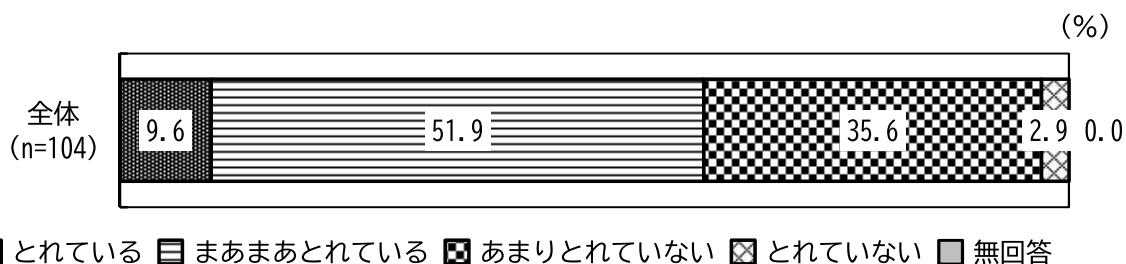
- ・最も大変なことは、「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」(10.6%)が最も多く、次いで「本人の意思の確認がとれない」(6.7%)、「本人や家族間で介護の方針が食い違う」(5.8%)、「本人や家族が医療機関を受診しない」「家族が認知症であることを認めない」(ともに4.8%)と続いている。



問 24 あなたは認知症患者の支援にあたって、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。

(1つに○)

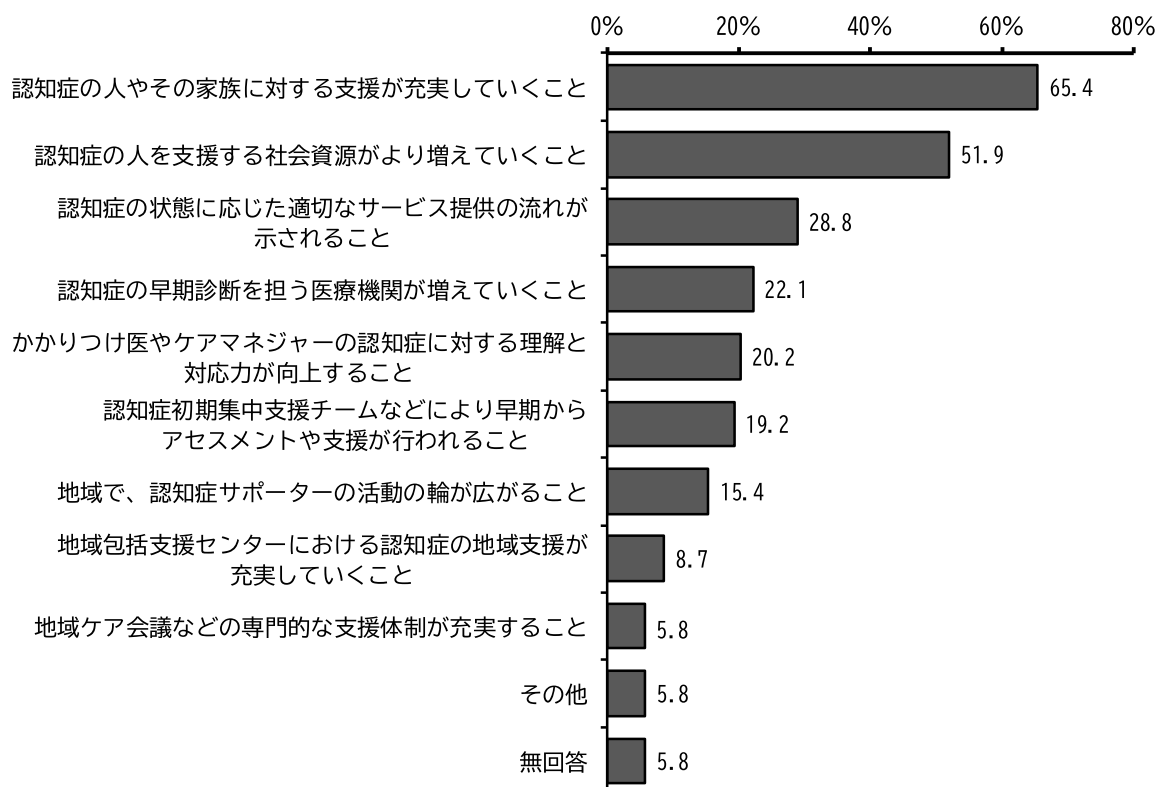
- ・「とれている」(9.6%)、「まあまあとれている」(51.9%)を合わせた割合は61.5%となっている。一方、「あまりとれていない」(35.6%)、「とれていない」(2.9%)を合わせた割合は38.5%となっている。



問 25 これから認知症患者の支援にあたり必要になると思うことは、次のどれですか。

(3つまでに○)

- ・「認知症の人やその家族に対する支援が充実していくこと」(65.4%)が最も多く、次いで「認知症の人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」(51.9%)、「認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること」(28.8%)と続いている。

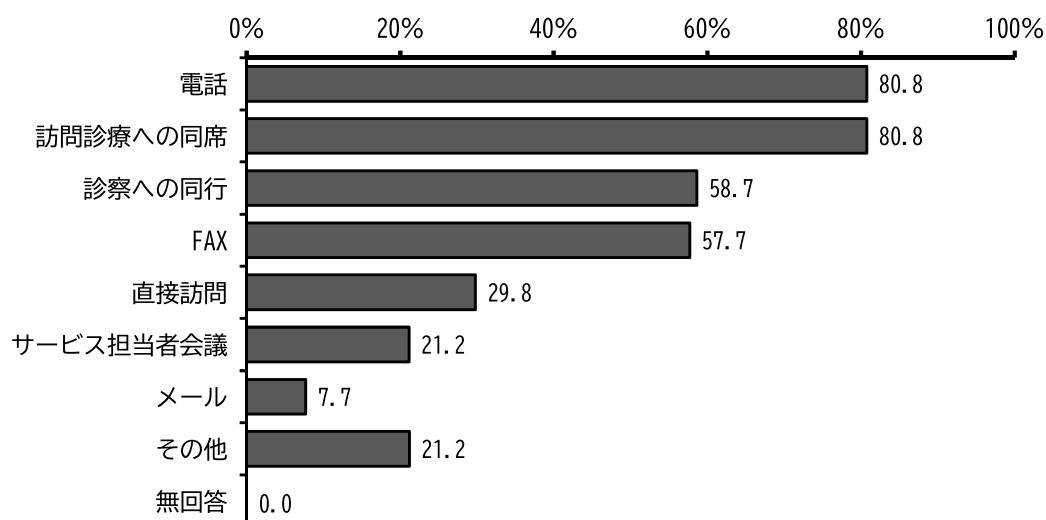


全体 (n=104)

(10) 医療と介護の連携の状況について

問 26 医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○)

- ・「電話」と「訪問診療への同席」(ともに 80.8%)が最も多く、次いで「診察への同行」(58.7%)、「FAX」(57.7%)、「直接訪問」(29.8%)と続いている。



全体 (n=104)

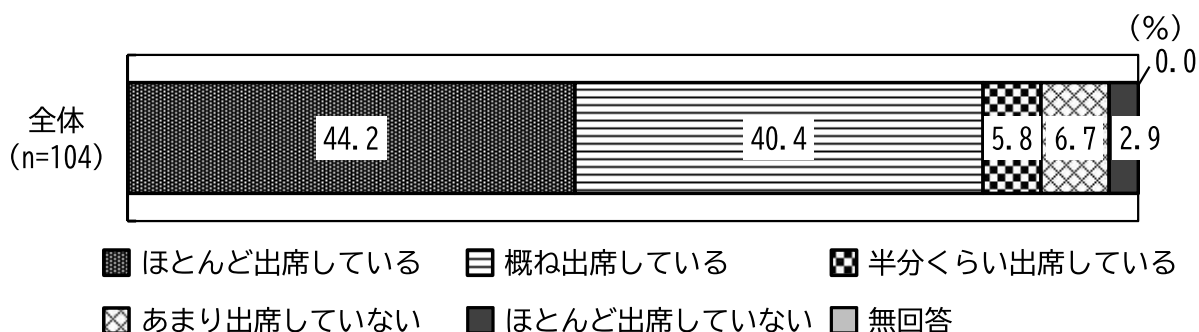
問 27 あなたは、利用者が入院する際に、どれくらいの頻度で情報提供書を作成し、入院先へ提供していますか。(1つに○)

- ・「ほとんど提出している」(18.3%)、「概ね提出している」(29.8%)を合わせた割合は48.1%となっている。一方、「あまり提出していない」(28.8%)、「ほとんど提出していない」(13.5%)を合わせた割合は42.3%となっている。



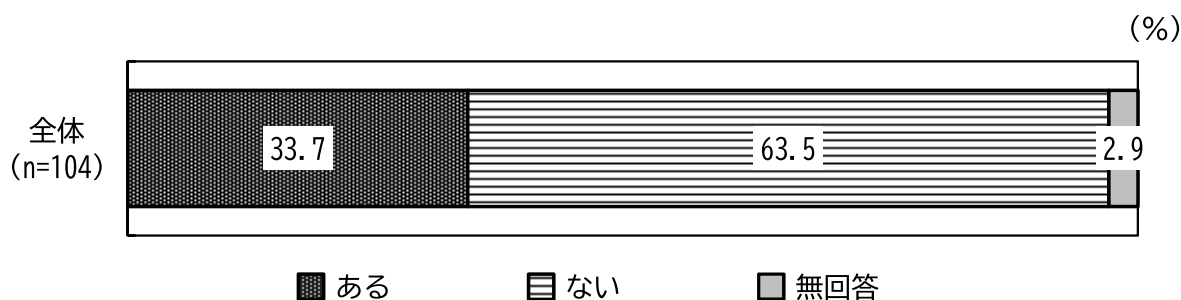
問 28 あなたは、退院前(時)カンファレンスにどれくらいの頻度で出席していますか。(1つに○)

- ・「ほとんど出席している」(44.2%)、「概ね出席している」(40.4%)を合わせた割合は84.6%となっている。一方、「あまり出席していない」(6.7%)、「ほとんど出席していない」(2.9%)を合わせた割合は9.6%となっている。



問 29 あなたは、医療機関(病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等)との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。(1つに○)

- ・「ある」が33.7%、「ない」が63.5%となっている。



《問 29 で「1」とお答えの方におたずねします》

問 29-1 どのような問題やトラブルが発生しましたか。具体的にお書きください。

※集計中

問 30 あなたは、医療関係機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

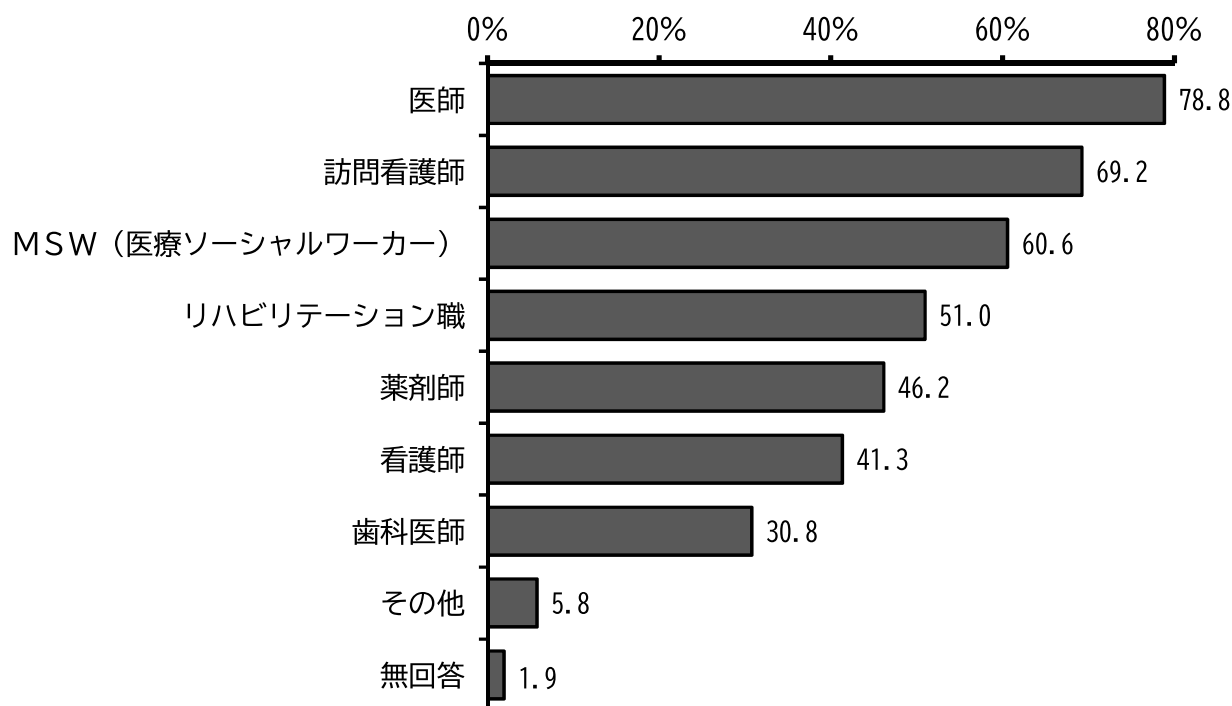
※集計中

問 31 あなたは、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

※集計中

問 32 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職は何ですか。（いくつでも○）

- ・「医師」（78.8%）が最も多く、次いで「訪問看護師」（69.2%）、「MSW（医療ソーシャルワーカー）」（60.6%）、「リハビリテーション職」（51.0%）と続いている。



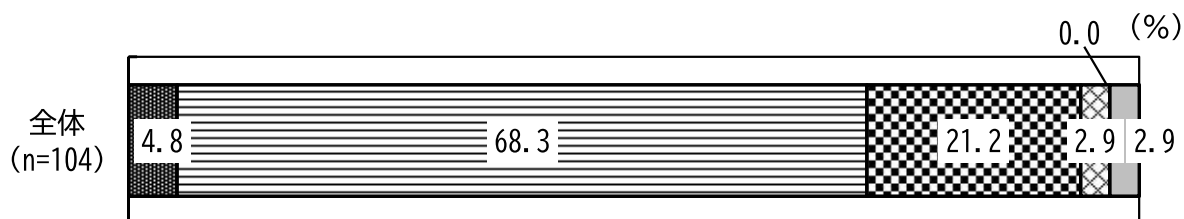
全体（n=104）

(11) ケアマネジャー業務全般について

問 33 あなたは、利用者の自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできていると思いますか。

(1つに○)

- ・「思う」(4.8%)、「少しは思う」(68.3%)を合わせた割合は73.1%となっている。一方、「あまり思わない」(21.2%)、「思わない」(2.9%)を合わせた割合は24.1%となっている。



■ 思う ■ 少しは思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 考えたことはない ■ 無回答

《問 33 で「1」、「2」とお答えの方におたずねします》

問 33-1 自立支援に向けたケアプランとなるように意識していることや、自立支援につなげるために工夫していることについて具体的にご記入ください。

※集計中

《問 33 で「3」、「4」、「5」とお答えの方におたずねします》

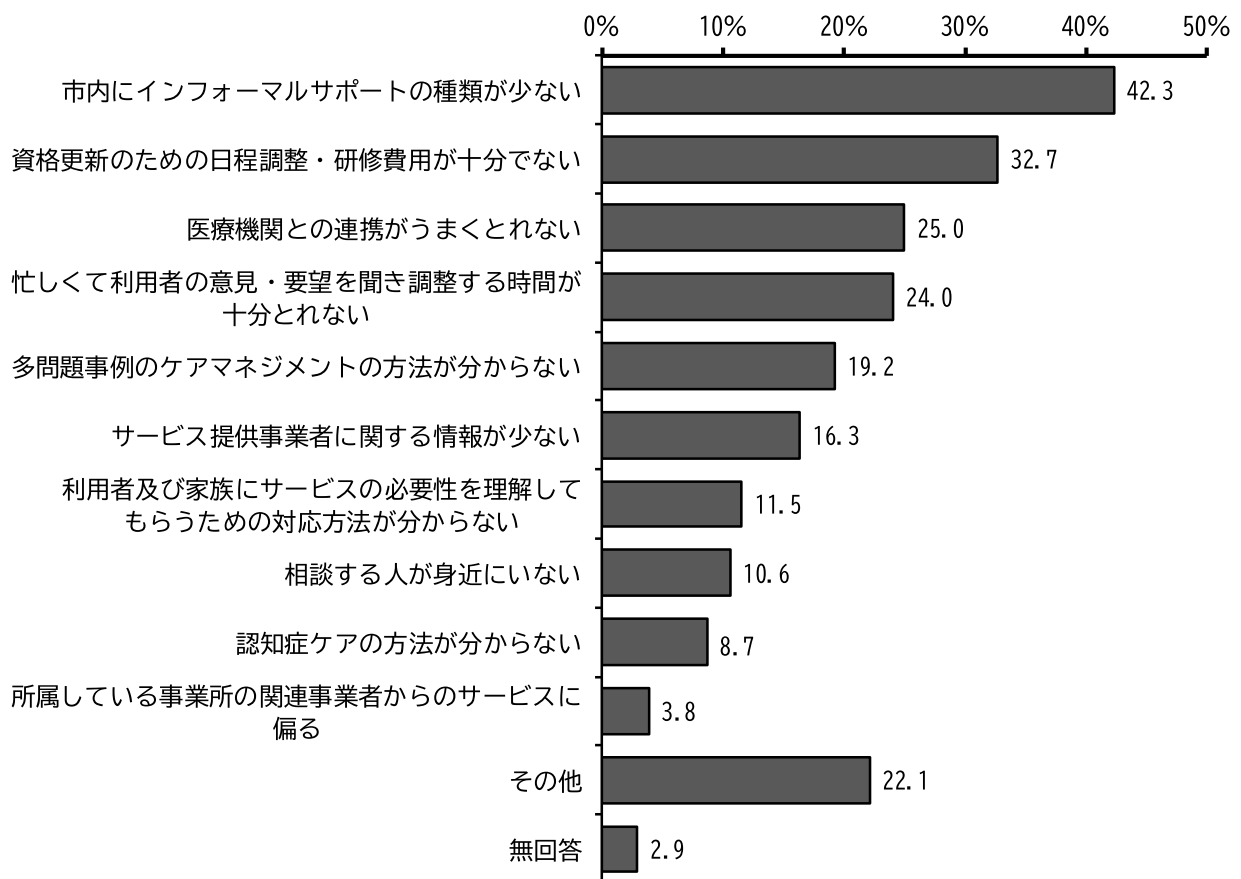
問 33-2 そのように思う理由について具体的にご記入ください。

※集計中

問 34 ケアマネジャー業務を行ううえで、課題としてお考えのことはどのようなことですか。

(いくつでも○)

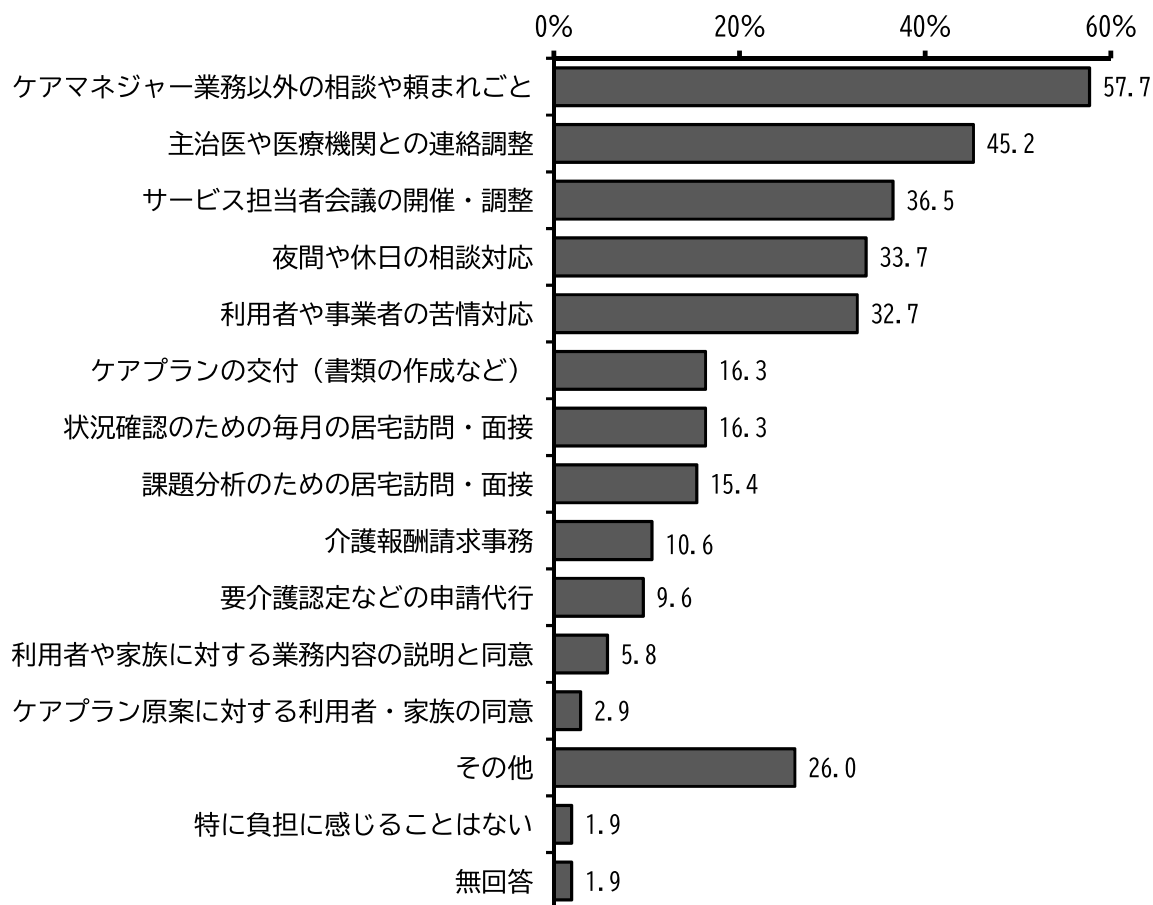
- ・「市内にインフォーマルサポートの種類が少ない」(42.3%)が最も多く、次いで「資格更新のための日程調整・研修費用が十分でない」(32.7%)、「医療機関との連携がうまくとれない」(25.0%)、「忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない」(24.0%)と続いている。



全体 (n=104)

問35 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。(いくつでも○)

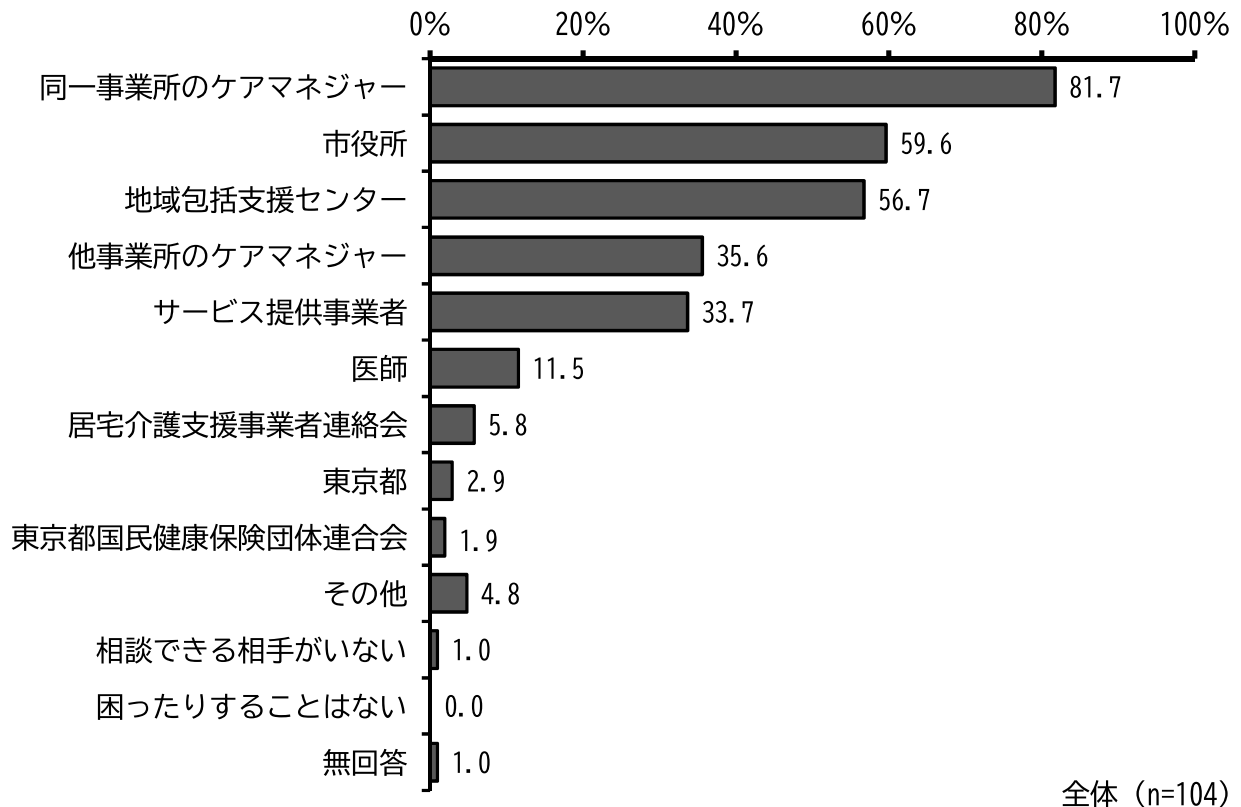
- ・「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」(57.7%)が最も多く、次いで「主治医や医療機関との連絡調整」(45.2%)、「サービス担当者会議の開催・調整」(36.5%)、「夜間や休日の相談対応」(33.7%)、「利用者や事業者の苦情対応」(32.7%)と続いている。
- ・一方、「特に負担に感じることはない」は1.9%となっている。



全体 (n=104)

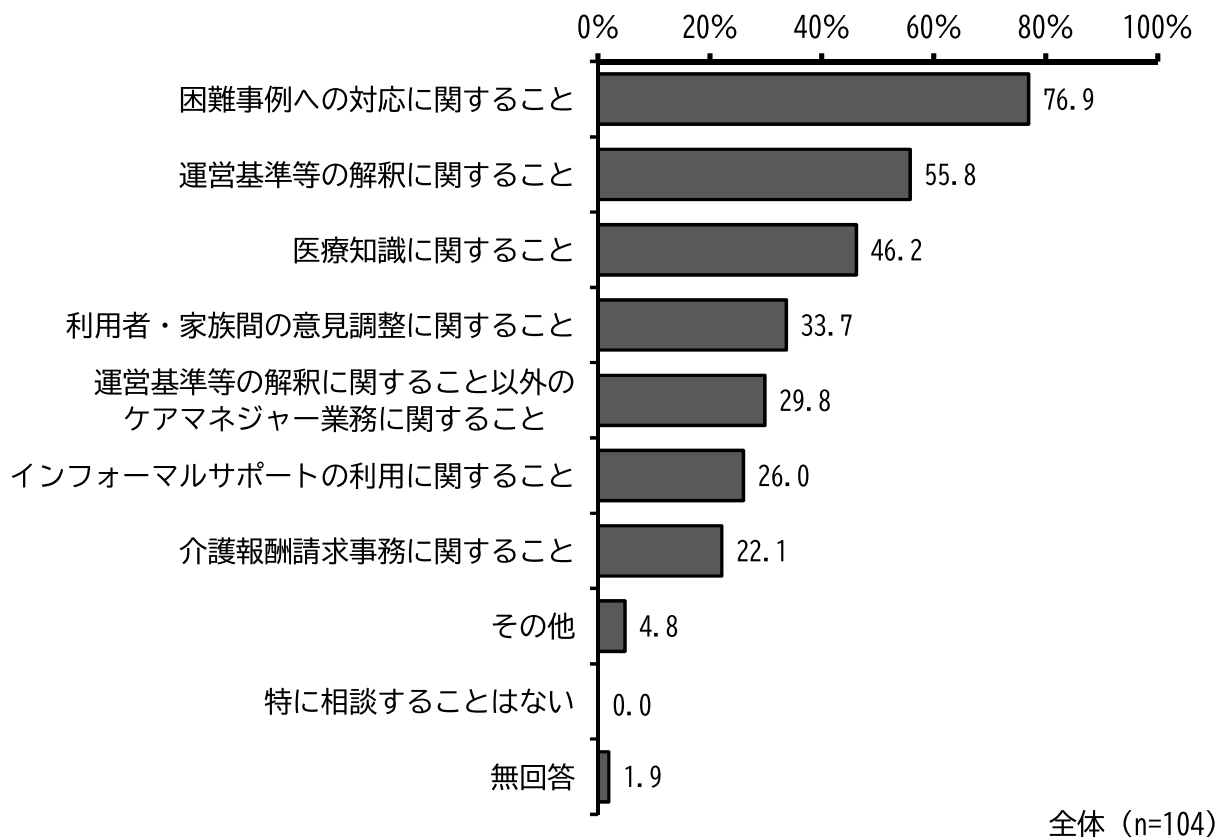
問 36 ケアプランを作成するうえで、分からないことや困ったことがあったとき、誰に相談しますか。(いくつかでも○)

- ・「同一事業所のケアマネジャー」(81.7%)が最も多く、次いで「市役所」(59.6%)、「地域包括支援センター」(56.7%)、「他事業所のケアマネジャー」(35.6%)、「サービス提供事業者」(33.7%)と続いている。
- ・一方、「相談できる相手がない」は1.0%、「困ったりすることはない」は0.0%となっている。



問37 どのようなことを相談していますか。(いくつでも○)

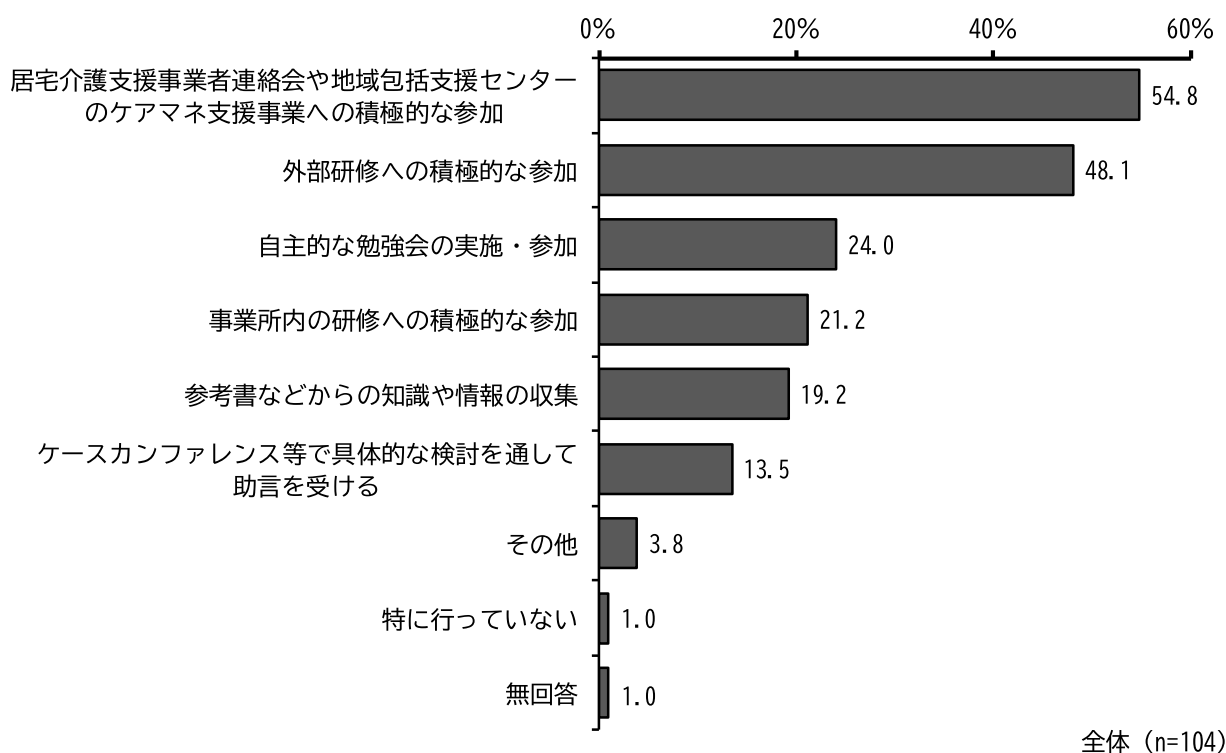
- ・「困難事例への対応に関すること」(76.9%)が最も多く、次いで「運営基準等の解釈に関すること(居宅サービスの適否判断を含む)」(55.8%)、「医療知識に関すること」(46.2%)、「利用者・家族間の意見調整に関すること」(33.7%)と続いている。
- ・一方、「特に相談することはない」は0.0%となっている。



問 38 ご自身のケアマネジャー業務のレベルアップのために（１）現在行っている、（２）今後行いたい取組をそれぞれ2つまで選び、ご記入ください。

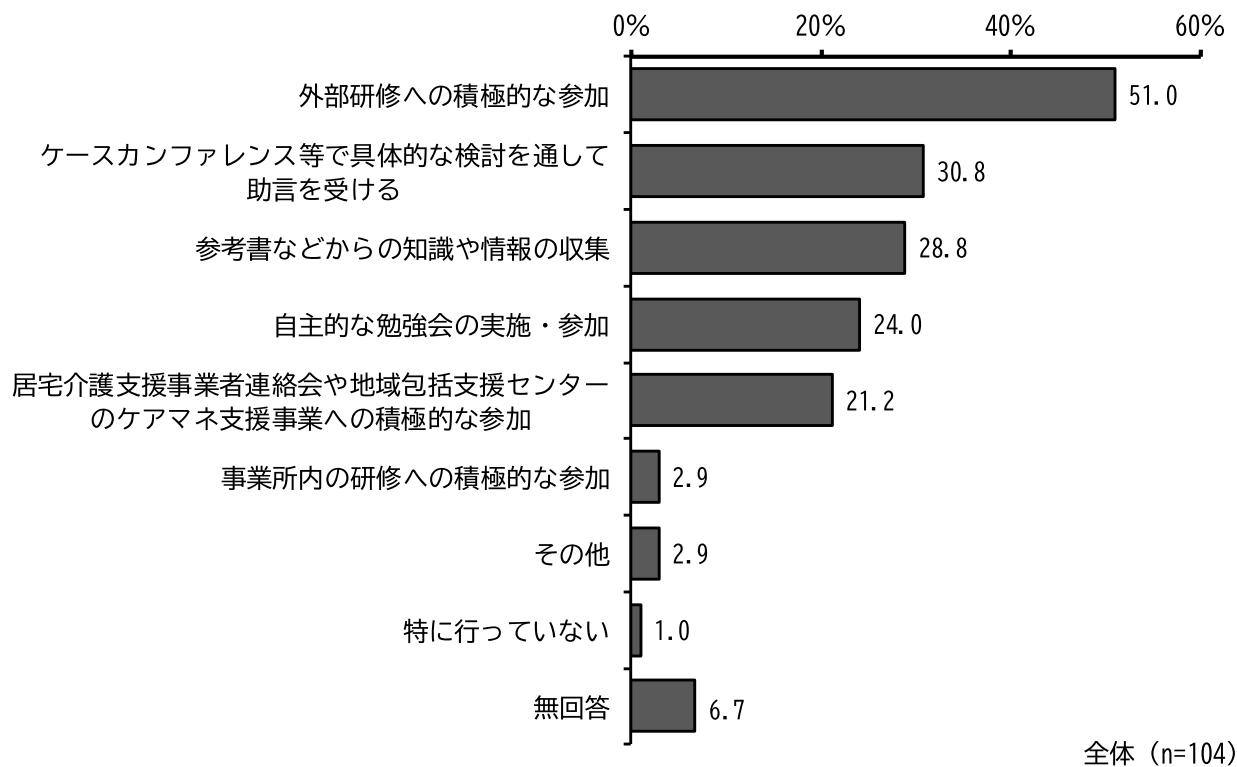
（１）現在行っている取組

- ・「居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的な参加」(54.8%)が最も多く、次いで「外部研修への積極的な参加」(48.1%)、「自主的な勉強会の実施・参加」(24.0%)、「事業所内の研修への積極的な参加」(21.2%)、「参考書などからの知識や情報の収集」(19.2%)と続いている。
- ・一方、「特に行っていない」は1.0%となっている。



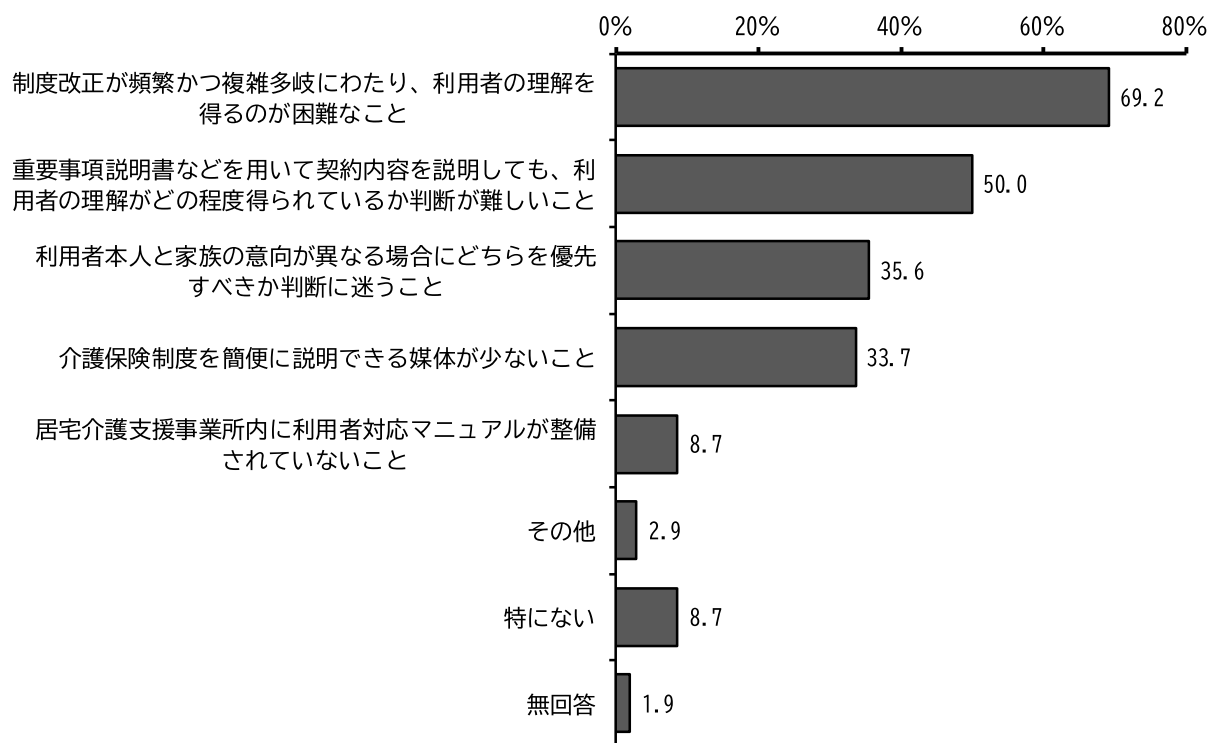
(2) 今後行いたい取組

- ・「外部研修への積極的な参加」(51.0%)が最も多く、次いで「ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける」(30.8%)、「参考書などからの知識や情報の収集」(28.8%)、「自主的な勉強会の実施・参加」(24.0%)、「居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的な参加」(21.2%)と続いている。
- ・一方、「特に行っていない」は1.0%となっている。



問39 利用者への情報提供の際に、課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)

- ・「制度改正が頻繁かつ複雑多岐にわたり、利用者の理解を得るのが困難なこと」(69.2%)が最も多く、次いで「重要事項説明書などを用いて契約内容を説明しても、利用者の理解がどの程度得られているか判断が難しいこと(特に認知症高齢者の場合)」(50.0%)、「利用者本人と家族の意向が異なる場合にどちらを優先すべきか判断に迷うこと」(35.6%)、「介護保険制度を簡便に説明できる媒体が少ないこと」(33.7%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は8.7%となっている。



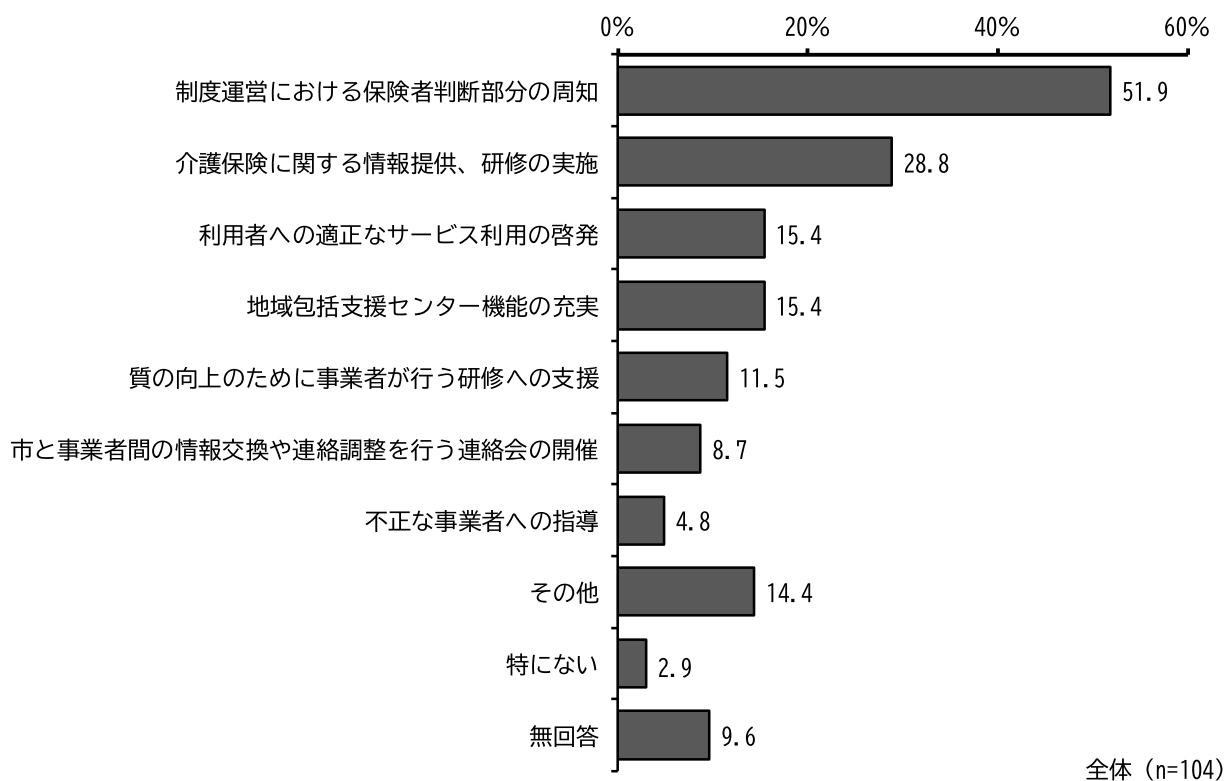
全体 (n=104)

(12) 府中市への意向について

問 40 今後、保険者としての府中市に対し、ケアマネジャーとして望むことは何ですか。

(2つまでに○)

- ・「制度運営における保険者判断部分の周知」(51.9%)が最も多く、次いで「介護保険に関する情報提供、研修の実施」(28.8%)、「利用者への適正なサービス利用の啓発」と「地域包括支援センター機能の充実」(ともに15.4%)、「質の向上のために事業者が行う研修への支援」(11.5%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は2.9%となっている。



問 41 最後に、介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

※集計中